



JPX-NIKKEI Mid Small

オルガノ株式会社 2023年3月期 決算説明会資料

(証券コード : 6368)

2023年5月17日



オルガノ株式会社

目次

1. 2023年3月期 通期実績
2. 2024年3月期 通期計画
3. 中長期経営計画 “ORGANO 2030”
4. 会社概要

目次

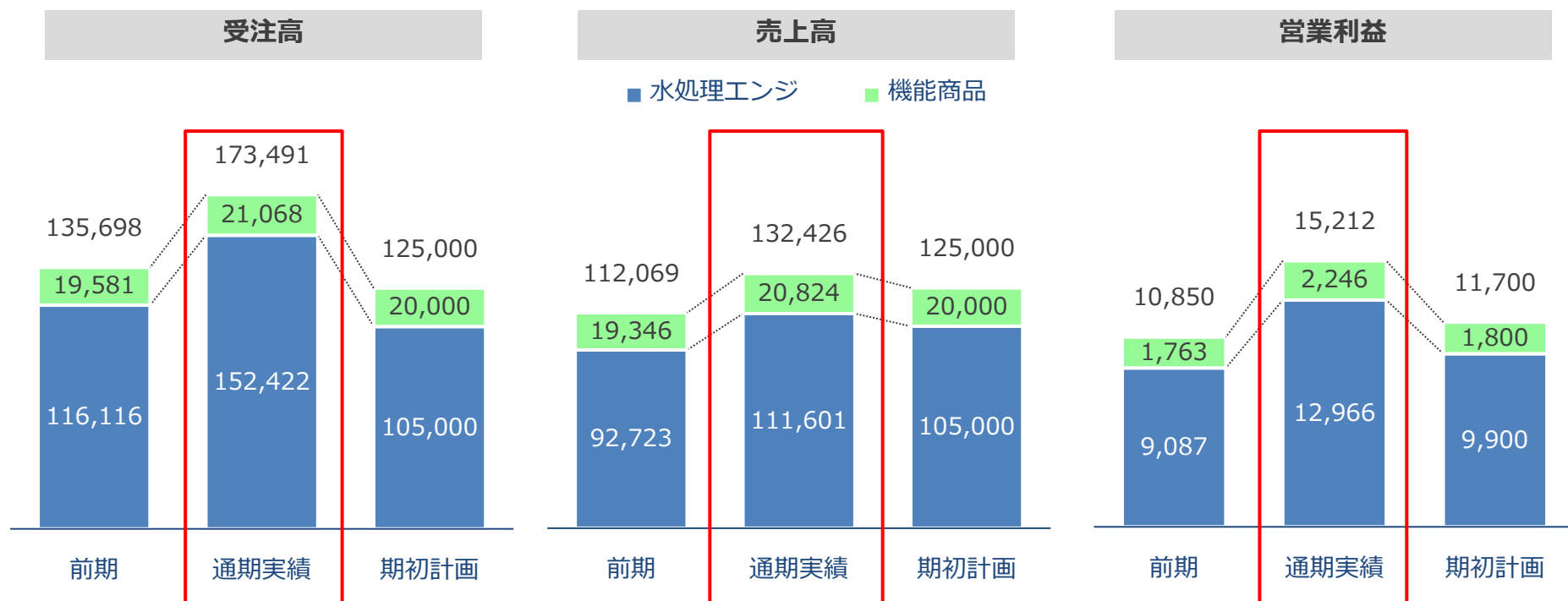
1. 2023年3月期 通期実績
2. 2024年3月期 通期計画
3. 中長期経営計画 “ORGANO 2030”
4. 会社概要

23年3月期通期実績：概況

受注・売上・営業利益とも前期に続き過去最高を更新

水処理エンジニアリング事業は国内外での電子産業分野の投資拡大が大きく寄与
機能商品事業は水処理薬品・標準型機器・食品とも好調に推移

(単位：百万円)



23年3月期通期実績：損益計算書

(単位：百万円)	22.3 実績	23.3 実績	23.3 期初計画	前期比 (%)	計画比 (%)
受注高	135,698	173,491	125,000	+27.9%	+38.8%
売上高	112,069	132,426	125,000	+18.2%	+5.9%
売上総利益 (%)	28,512 25.4%	34,976 26.4%	30,700 24.6%	+22.7%	+13.9%
販管費	17,662	19,763	19,000	+11.9%	+4.0%
営業利益 (%)	10,850 9.7%	15,212 11.5%	11,700 9.4%	+40.2%	+30.0%
経常利益	11,545	16,020	11,700	+38.8%	+36.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,210	11,730	8,200	+27.4%	+43.1%
ROE (%)	12.9%	14.5%	10.6%	—	—

23年3月期通期実績：事業分野別概況

電子産業 分野	日本や台湾に続き、中国やマレーシアでも大型案件を受注。一部の案件でスケジュールの見直しや原材料調達・工事の遅れ等が影響したものの、全体的には順調に工事が進捗。
一般産業 分野	国内において、製薬や食品、電子産業の周辺分野など大型投資が回復。ソリューション事業も堅調に推移。
電力・上下水 分野	電力・上下水とも設備の更新需要やソリューション事業などを中心に堅調な推移が続く。電力分野では原子力発電所の再稼働に向けたメンテナンスなどの受注が伸長。
機能商品 事業	水処理薬品は電子産業向けの各種処理剤の販売増加。標準型機器・フィルタ分野は「ピュールックμ(ミュー)」など小型純水装置の販売が好調に推移。食品は各種添加剤などの売上が増加、価格転嫁も進む。

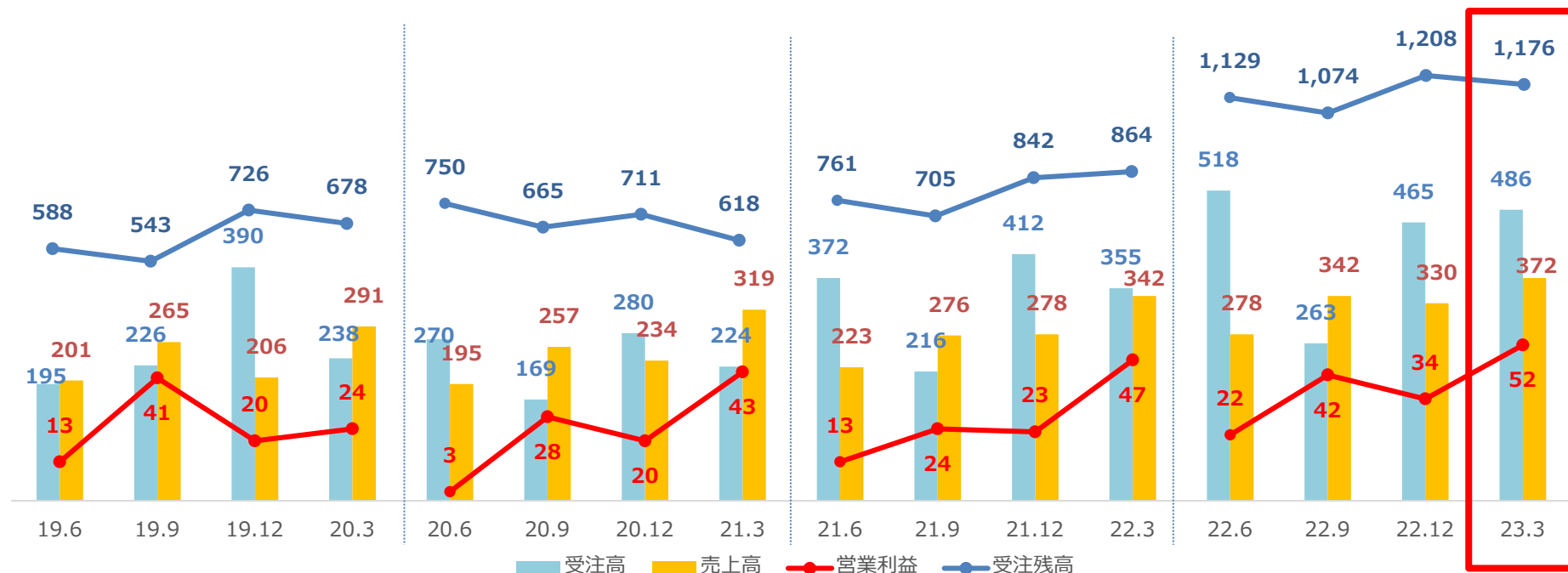
23年3月期通期実績：四半期間毎の業績推移

大型案件の動向で受注高は変動、売上・利益は2Q・4Qに集中

大型案件の受注によって受注高は大きく変動、売上・利益は2Q・4Qに集中する傾向も、案件の大型化・長納期化なども影響しやや平準化

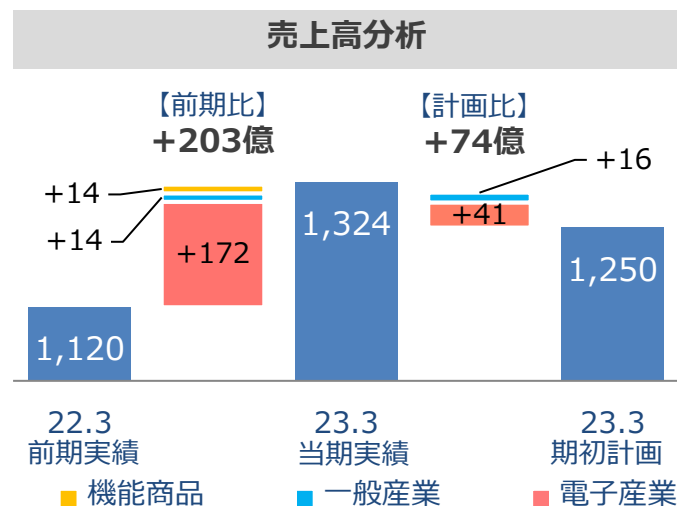
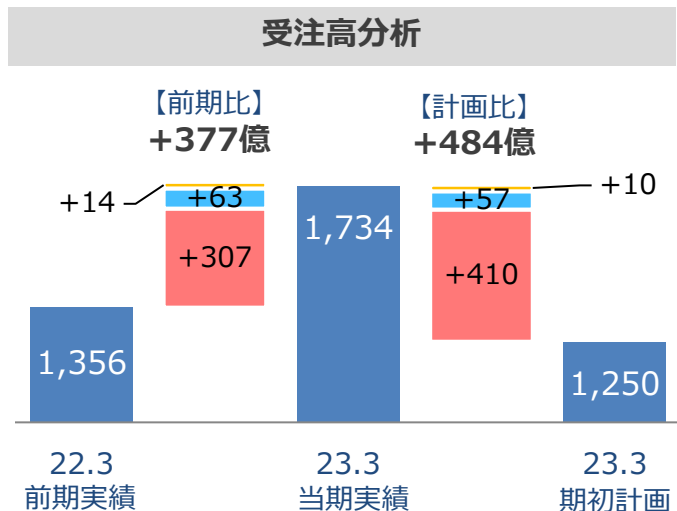
(単位：億円)

四半期間(3か月)毎の業績推移 (受注高・売上高・受注残高・営業利益)



23年3月期通期実績：受注高・売上高分析

(単位：億円)



【受注高】

前期比：+377億 (+27.9%)

電子産業は中国・マレーシアでも大型案件受注
一般産業も大型投資回復、機能商品も好調

計画比：+484億 (+38.8%)

電子産業は案件の件数・規模とも計画上回る
一般産業・機能商品も期初想定以上に好調

【売上高】

前期比：+203億 (+18.2%)

電子産業は受注案件の工事進捗で売上増
一般産業・機能商品も受注好調で売上拡大

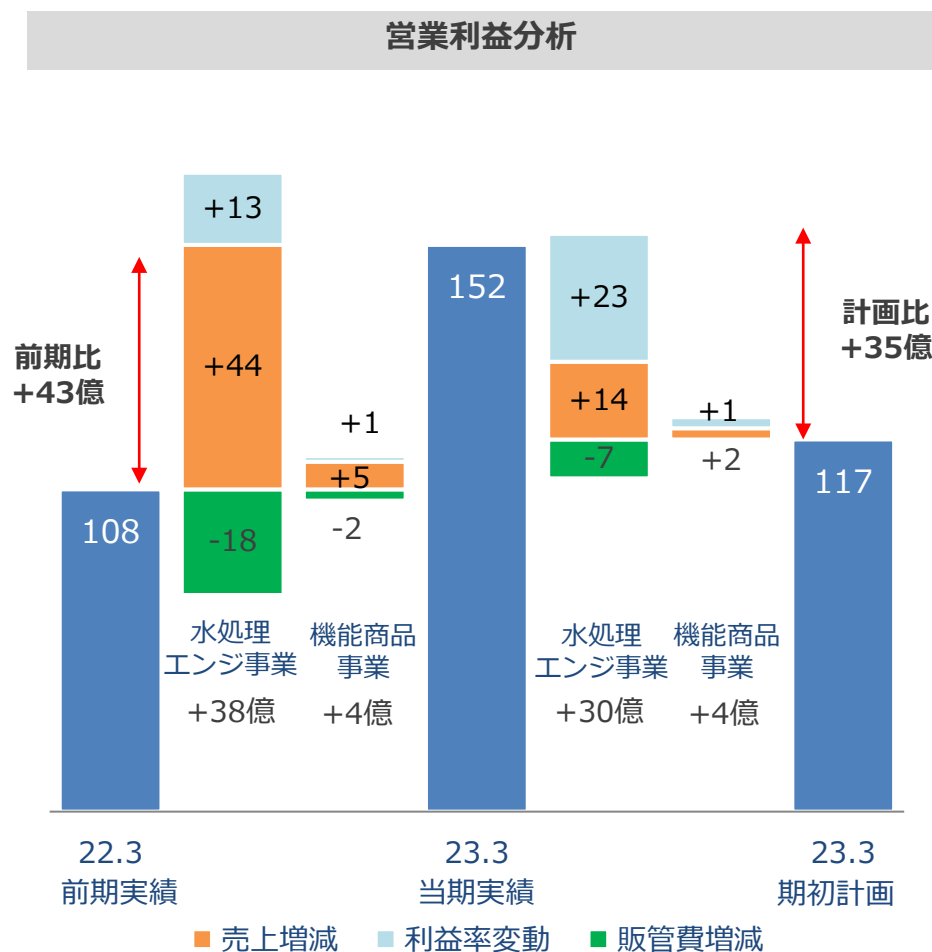
計画比：+74億 (+5.9%)

各分野とも想定以上に受注拡大。大型案件は
一部案件の遅れ等が影響も全体的には順調に
推移

※グラフは10億円以上の増減のある分野を表示

23年3月期通期実績：営業利益分析

(単位：億円)



■ 前期比：+43億（+40.2%）

水処理エンジニアリング事業：+38億（+42.7%）

電子産業分野を中心に売上増で利益も拡大。プラントの利益率改善も貢献。販管費は人件費・外注費など中心に拡大

機能商品事業：+4億（+27.4%）

薬品・機器・食品の各分野での売上拡大が利益増に貢献。

■ 計画比：+35億（+30.0%）

水処理エンジニアリング事業：+30億(+31.0%)

増収効果に加え電子産業や一般産業などプラント中心に利益率が改善

機能商品事業：+4億（+24.8%）

売上増に加え利益率も想定より改善

23年3月期通期実績：地域別受注高

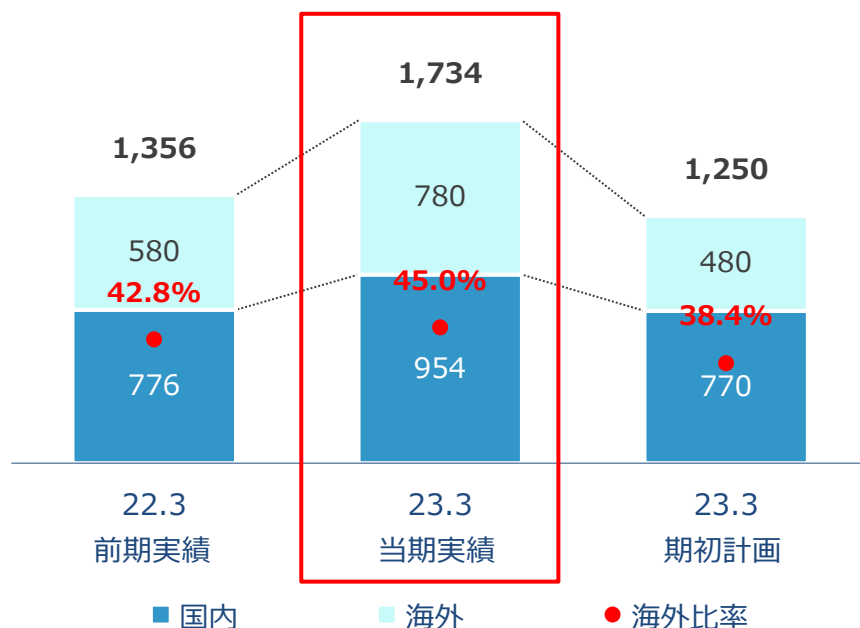
国内・台湾に加え、中国・マレーシアでも大型案件の受注拡大

国内：電子産業分野の大型投資に加え、一般産業分野も投資回復

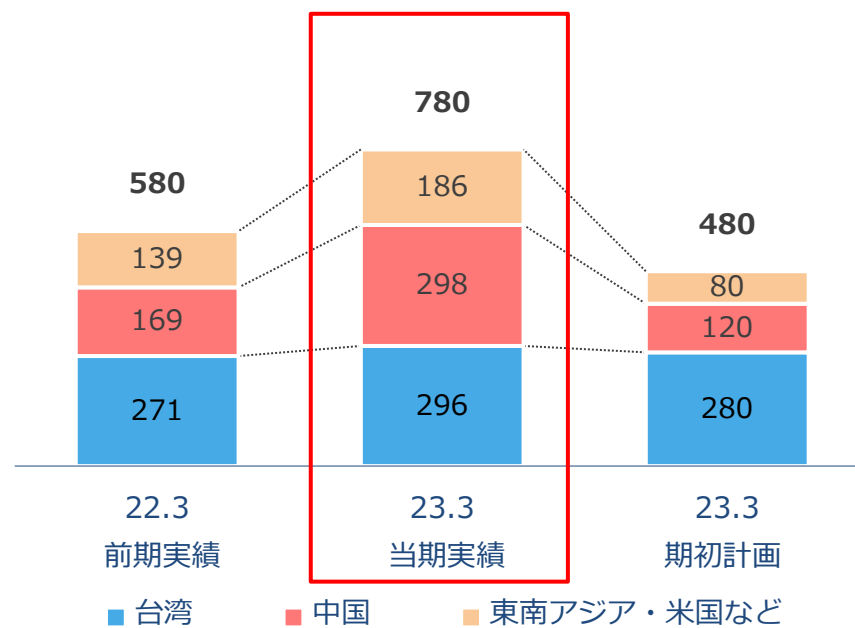
海外：中国・マレーシアでは電子産業分野の大型案件受注が貢献

(単位：億円)

受注高：国内・海外



受注高：海外地域別



23年3月期通期実績：地域別売上高

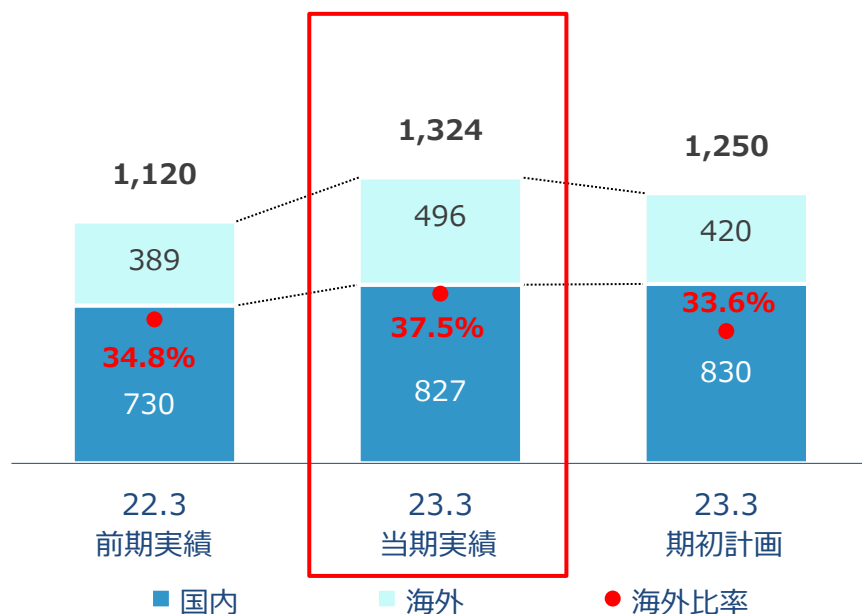
海外は台湾やアメリカなどの大型プロジェクトの売上が伸長

国内：電子産業分野など大型案件の工事が順調に進捗

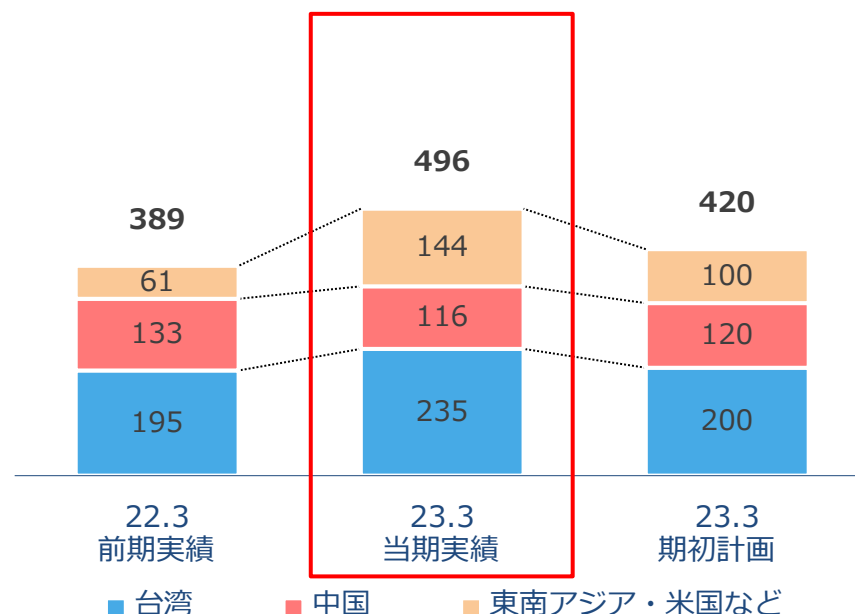
海外：台湾や米国、マレーシア等で売上拡大、中国案件の貢献は来期以降

(単位：億円)

売上高：国内・海外



売上高：海外地域別



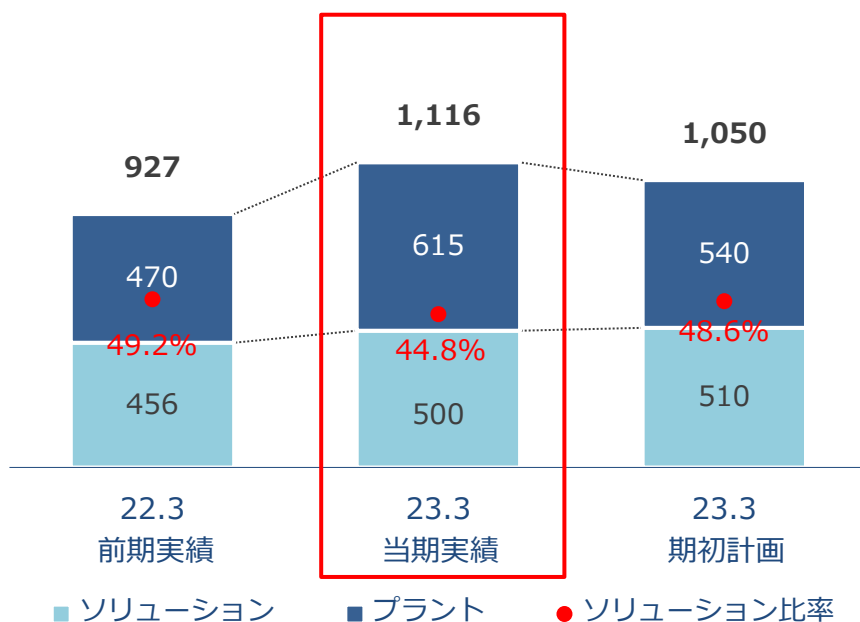
23年3月期通期実績：水処理エンジニア事業売上高

水処理エンジニア事業の増収は電子産業分野が大きく貢献

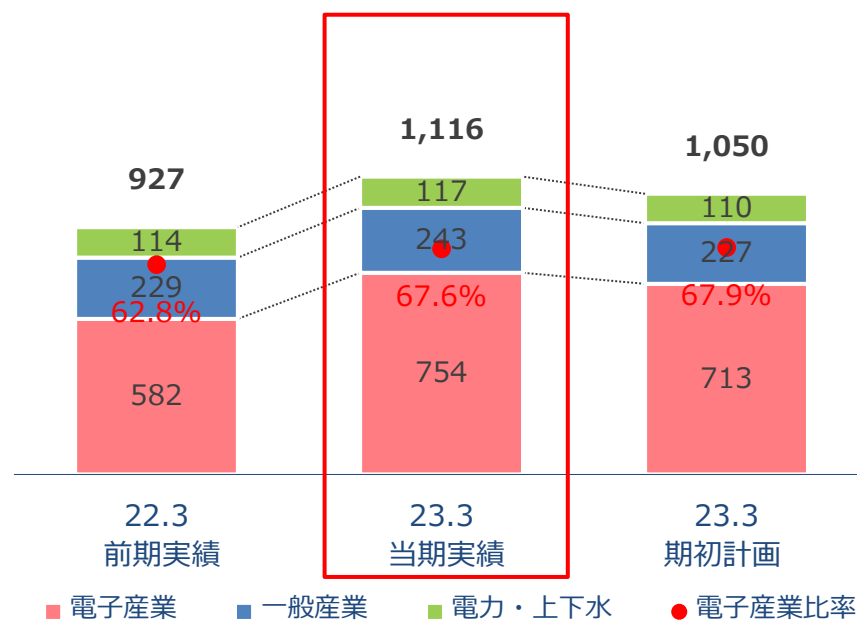
プラントは電子産業・一般産業の受注拡大によって売上が大きく拡大
 ソリューションは設備保有型サービスの売上開始が一部次期に繰越。計画未達も
 メンテ等好調で前期比では増収

(単位：億円)

水処理エンジニア売上高：プラント・ソリューション



水処理エンジニア売上高：市場分野別



23年3月期通期実績：電子産業分野受注高

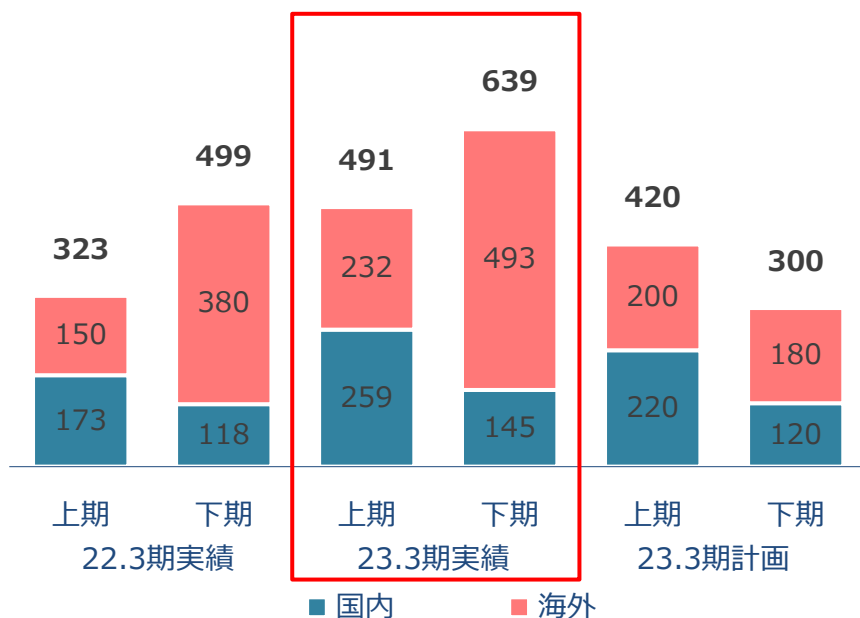
国内・台湾に加え、中国・マレーシアでの受注拡大が貢献

国内は大型の半導体プロジェクト、シリコンウェハー案件など受注

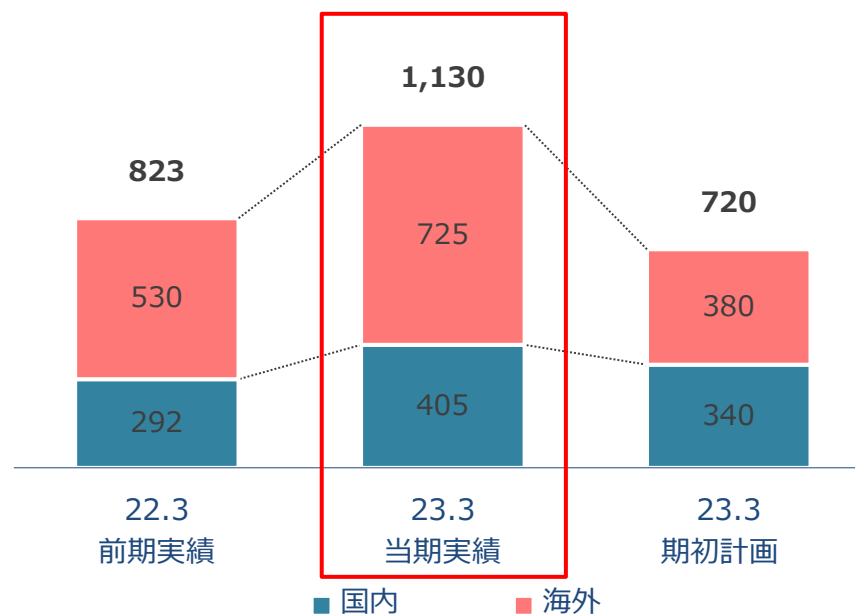
海外は台湾での先端半導体投資に加え、中国・マレーシアで車載用・パワー半導体向けなどレガシーノードの大型プロジェクトを受注

(単位：億円)

電子産業分野：受注高（上下比較）



電子産業分野：受注高



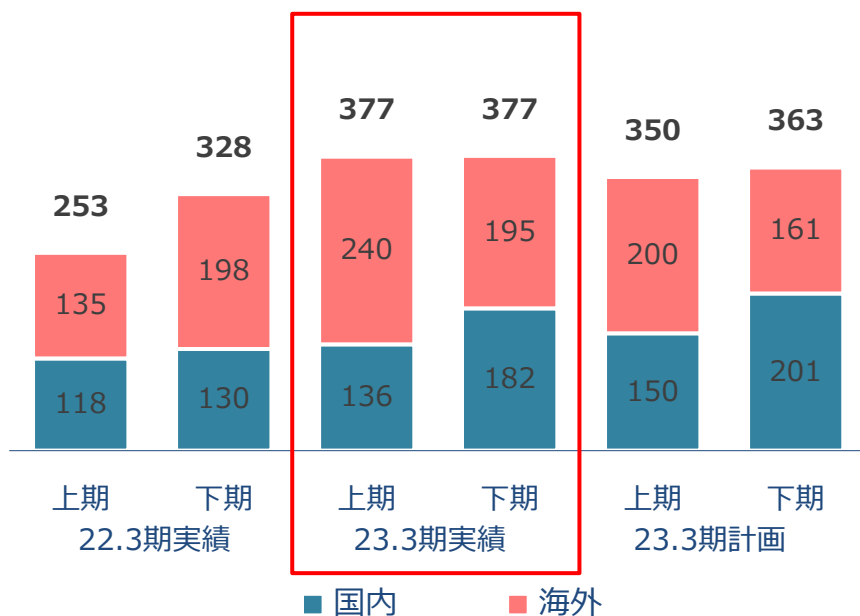
23年3月期通期実績：電子産業分野売上高

受注案件の工事進捗により国内・海外で売上が伸長

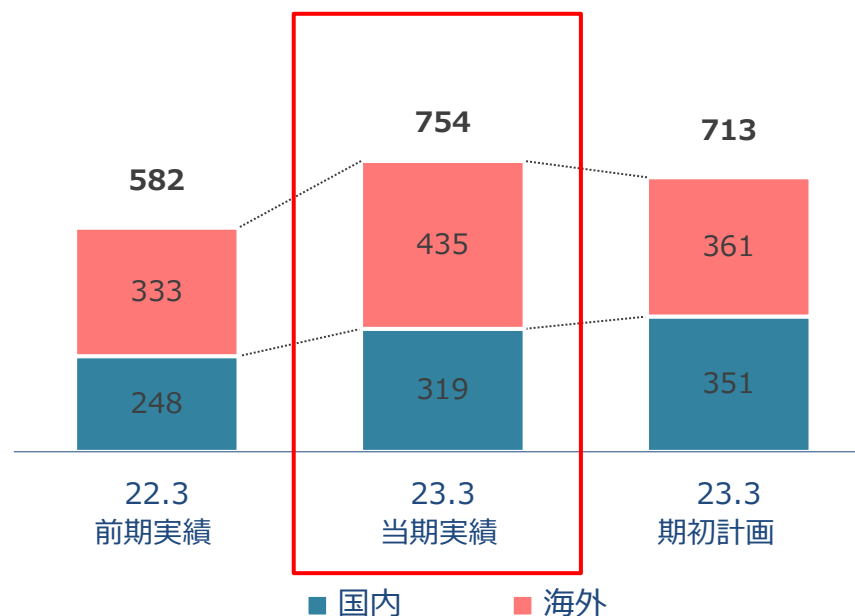
国内は受注拡大で前期比増も、一部案件での工程調整で計画比は未達
海外は台湾・マレーシアの売上増が大きく寄与。中国は大型案件の
受注増もロックダウンや感染拡大も影響し売上は次期以降に貢献

(単位：億円)

電子産業分野：売上高（上下比較）

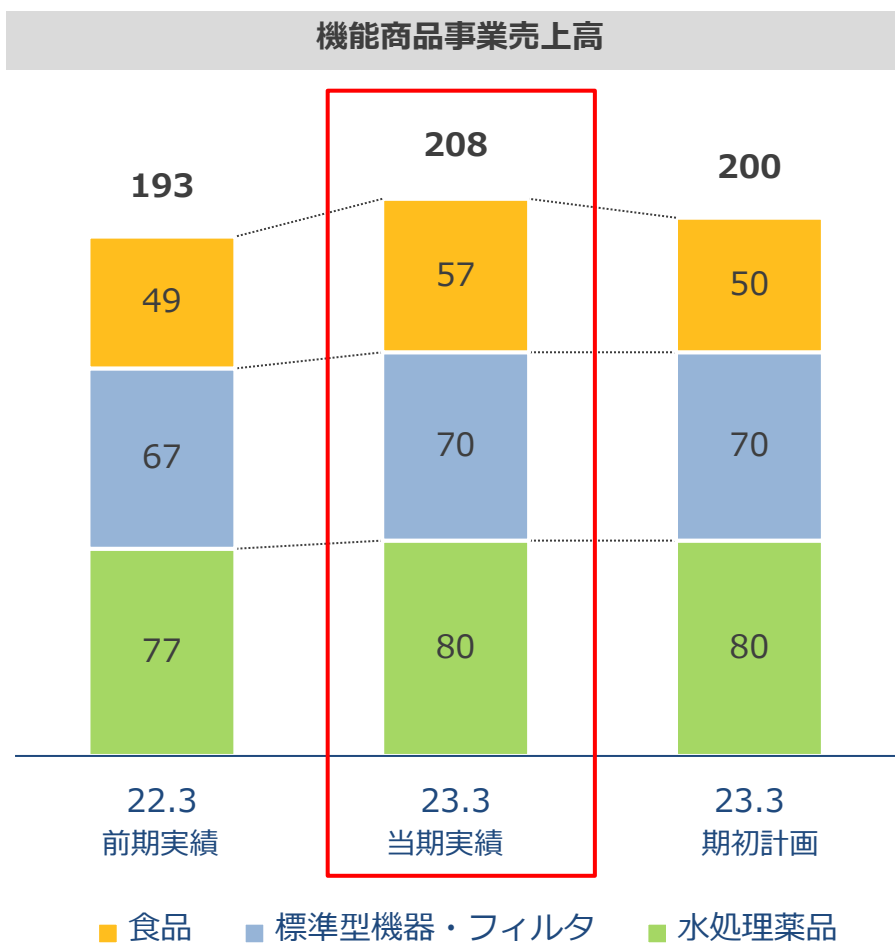


電子産業分野：売上高



23年3月期通期実績：機能商品事業売上高

(単位：億円)



■ 水処理薬品

水処理プラントの新增設が続く半導体工場など電子産業分野に向けた各種の水処理薬品の販売が好調に推移

■ 標準型水処理機器・フィルタ

前年に上市したピューリックμ（ミュー）など医療・研究機関などに向けた小型純水装置の販売が伸長

■ 食品

各種の食品添加剤の販売が好調に推移。原材料価格の上昇などコスト増に対する値上げなど価格転嫁も進捗

目次

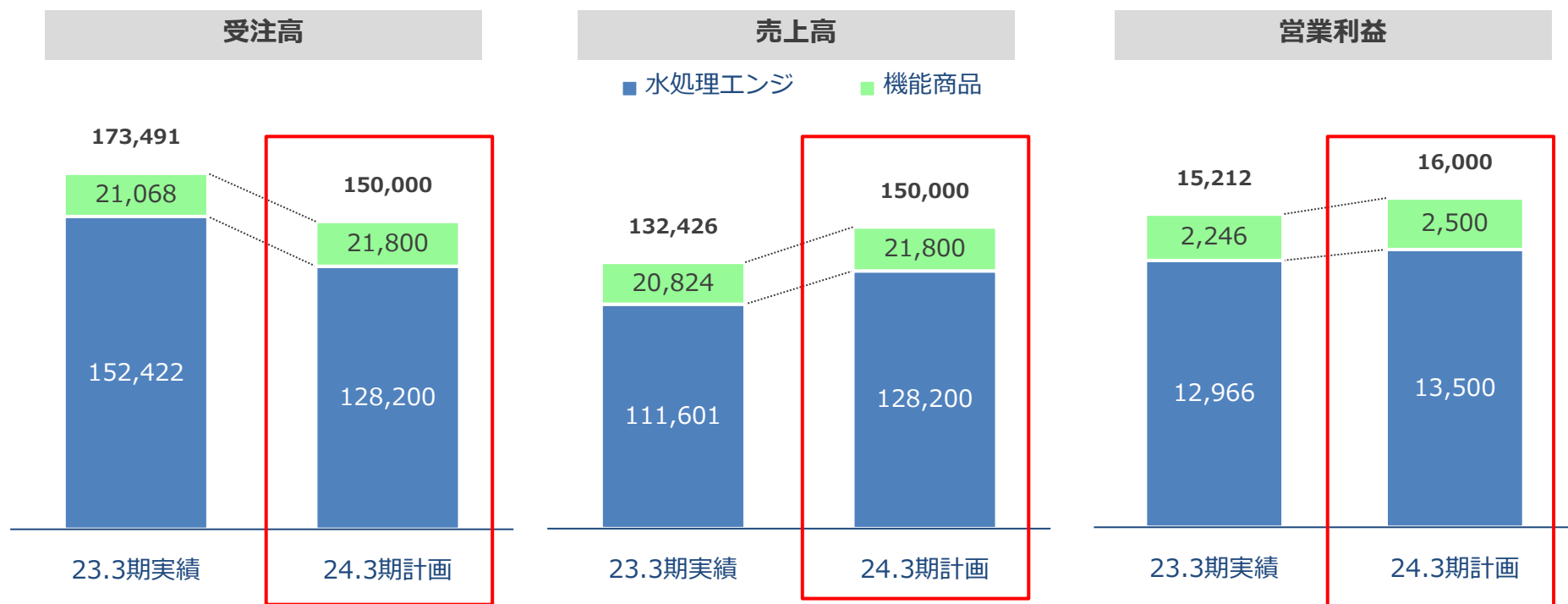
1. 2023年3月期 通期実績
2. 2024年3月期 通期計画
3. 中長期経営計画 “ORGANO 2030”
4. 会社概要

24年3月期通期計画：概況

受注は減少見込むも高水準維持、売上・利益は増収増益を計画

大型プロジェクトが集中した前期に比べ受注は減少を想定も高水準を維持
売上・利益は前期までの受注案件の工事進捗を想定、増収増益を計画

(単位：百万円)



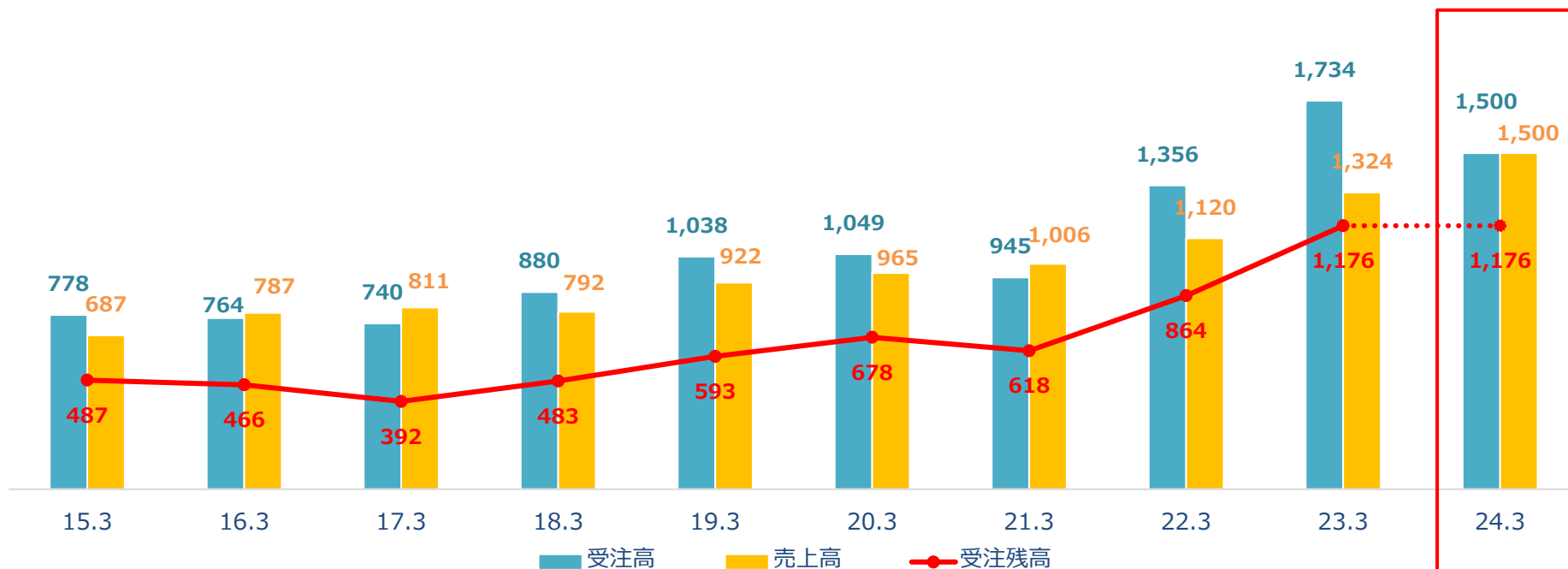
24年3月期通期計画：業績の推移

受注残は過去最高水準、24年3月期も売上増見込む

2018年～電子産業分野を中心に受注が拡大、台湾や中国など海外も伸長。
大型プロジェクトは工期12～24か月、受注・受注残は売上の先行指標

(単位：億円)

受注高・売上高・受注残高の推移



24年3月期通期計画：損益計算書

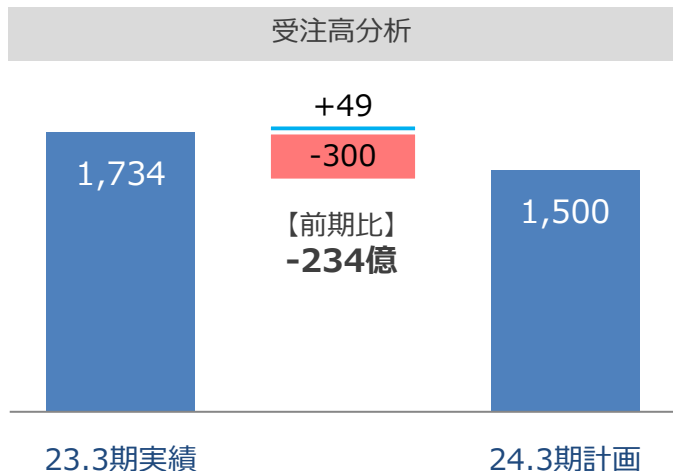
(単位：百万円)	23.3期		24.3期		前期比	
	上期実績	通期実績	上期計画	通期計画	上期	通期
受注高	78,230	173,491	70,000	150,000	-10.5%	-13.5%
売上高	62,117	132,426	70,000	150,000	+12.7%	+13.3%
売上総利益 (%)	16,108 25.9%	34,976 26.4%	17,100 24.4%	37,000 24.7%	+6.2%	+5.8%
販管費	9,597	19,763	10,500	21,000	+9.4%	+6.3%
営業利益 (%)	6,510 10.5%	15,212 11.5%	6,600 9.4%	16,000 10.7%	+1.4%	+5.2%
経常利益	7,451	16,020	6,600	16,000	-11.4%	-0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,027	11,730	4,600	11,200	-8.5%	-4.5%
ROE (%)	—	14.5%	—	12.6%	—	—

24年3月期通期計画：業績見通し

受注環境	<p>メモリ等の市況や米国の対中半導体規制など電子産業分野には不透明感あり、前期までの拡大基調から一服感を見込む。一方で国内外で複数の大型投資計画もあり高水準の受注を想定</p>
売上・利益の想定	<p>電子産業分野を中心とした高水準の繰越受注残を前提に売上・利益は拡大路線で想定。一部の案件でスケジュールの遅れを見込むが全体的には順調な工事進捗を想定。プラント案件のコストダウンや収益改善策の進捗で採算性は改善の可能性も</p>
リスク要因	<ul style="list-style-type: none">・ 市況の悪化や地政学的なリスクなどによる投資計画の中止・延期といった受注環境の悪化・ インフレや為替などの動向による原材料・工事価格の上昇・ 調達や物流の遅延などサプライチェーンの混乱による工事進捗の遅延

24年3月期通期計画：受注高・売上高分析

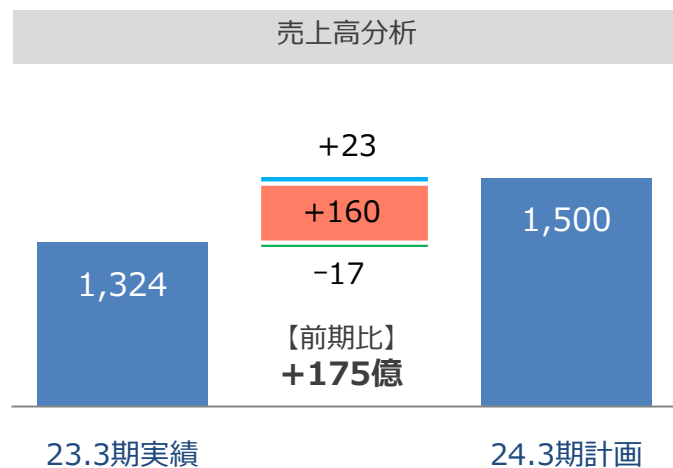
(単位：億円)



【受注高】

前期比：-234億 (-13.5%)

前年までの拡大基調から一服感を想定も国内外で複数の大型プロジェクトが計画されるなど高水準の受注を想定。半導体市況や地政学リスクなど変動要因も大きいため動向を注視。



【売上高】

前期比：+175億 (+13.3%)

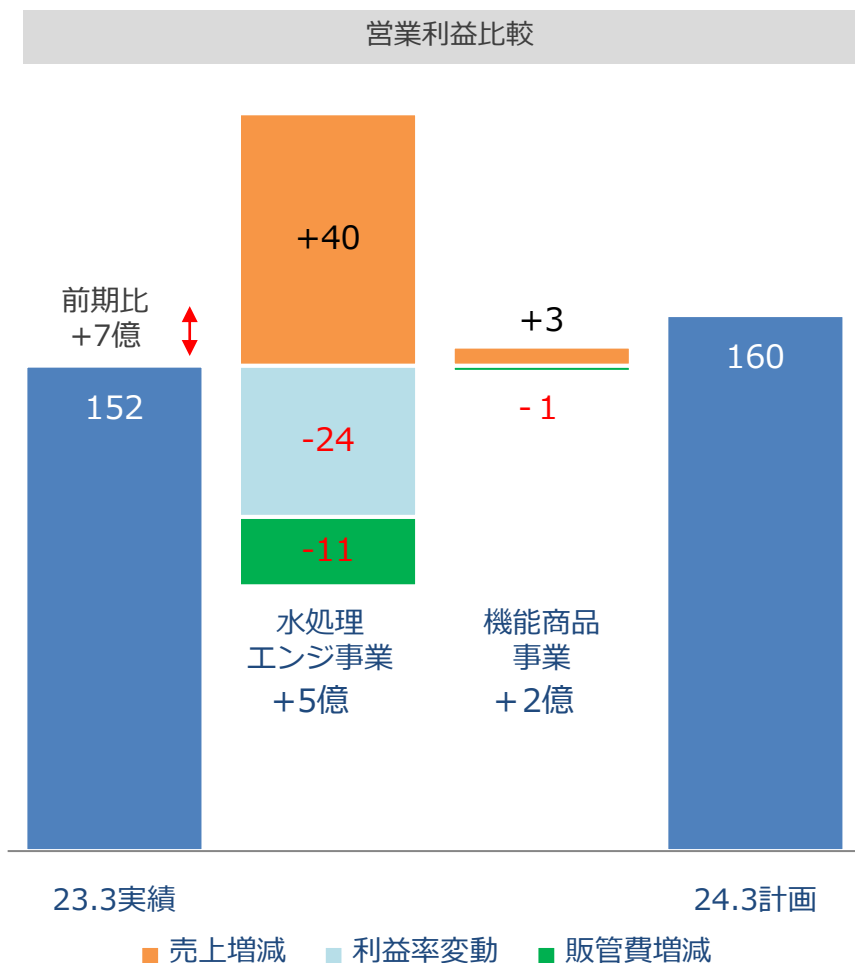
電子産業を中心に繰越受注残高は高水準、工事の進捗によって売上拡大を計画。一般産業も受注拡大で売上増を想定。電力・上下水は大型案件の端境期で売上減を見込む。

■ 一般産業 ■ 電子産業 ■ 電力・上下水

※グラフは10億円以上の増減のある分野を表示

24年3月期通期計画：営業利益

(単位：億円)



■ 前期比：+7億 (+5.2%)

■ 水処理エンジニアリング事業：+5億 (+4.1%)

プラント・ソリューションとも売上増を計画、増収効果での利益拡大を想定。プラント部門の利益見通しは原材料価格の上昇や工事等のリスクを織り込んで計画。コストダウンや収益改善の進捗で採算性改善の可能性も。販管費は人件費や研究開発・デジタル投資、外注費などの拡大を計画

■ 機能商品事業：+2億 (+11.3%)

各分野とも売上の拡大を計画。水処理薬品や標準型機器・フィルタ分野は台湾・中国など海外向けの事業展開を強化

24年3月期通期計画：地域別受注高

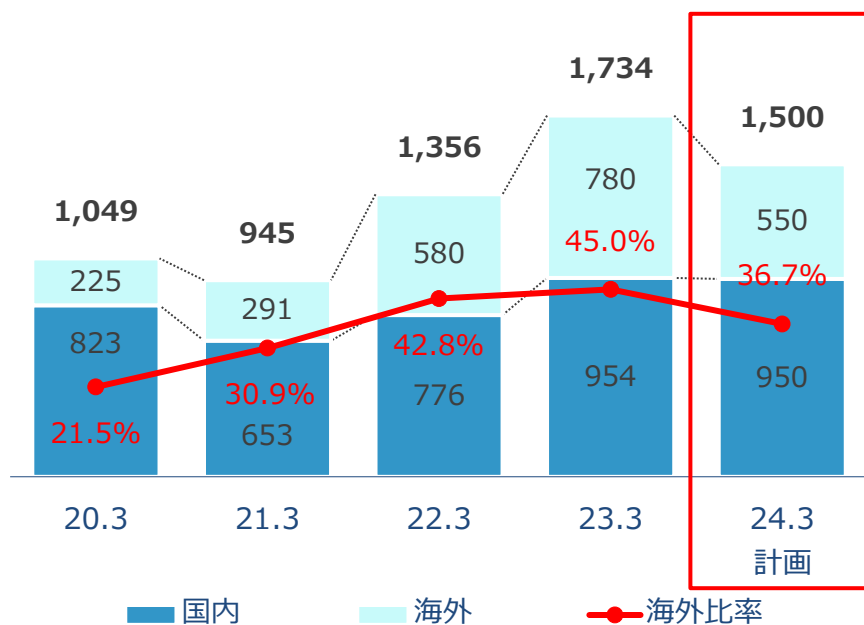
受注は海外で一服感も、引き続き高い水準を想定

国内：半導体など電子産業に加え一般産業の受注拡大も想定

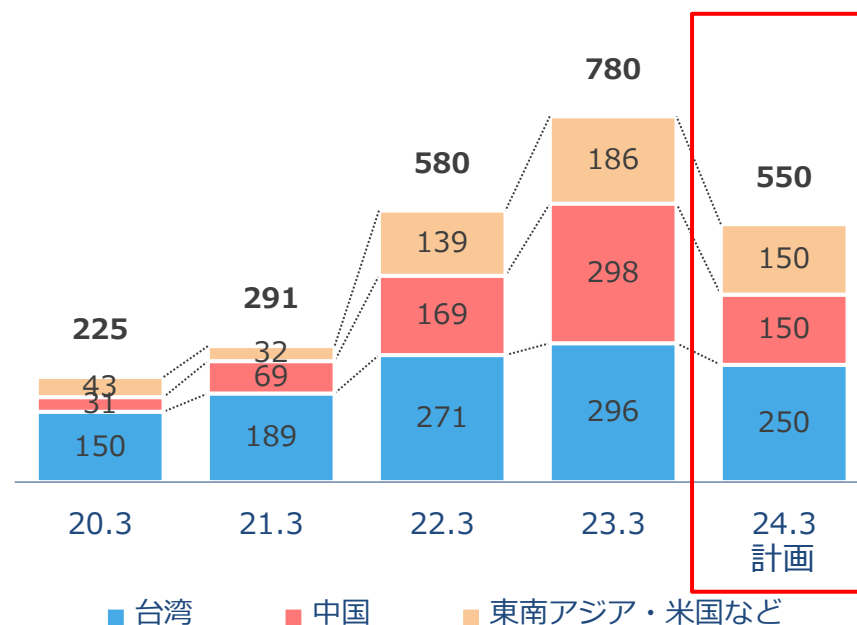
海外：受注は一服感も、各国で大型投資が複数計画、高水準の受注を想定

(単位：億円)

受注高：国内・海外



受注高：海外地域別



24年3月期通期計画：地域別売上高

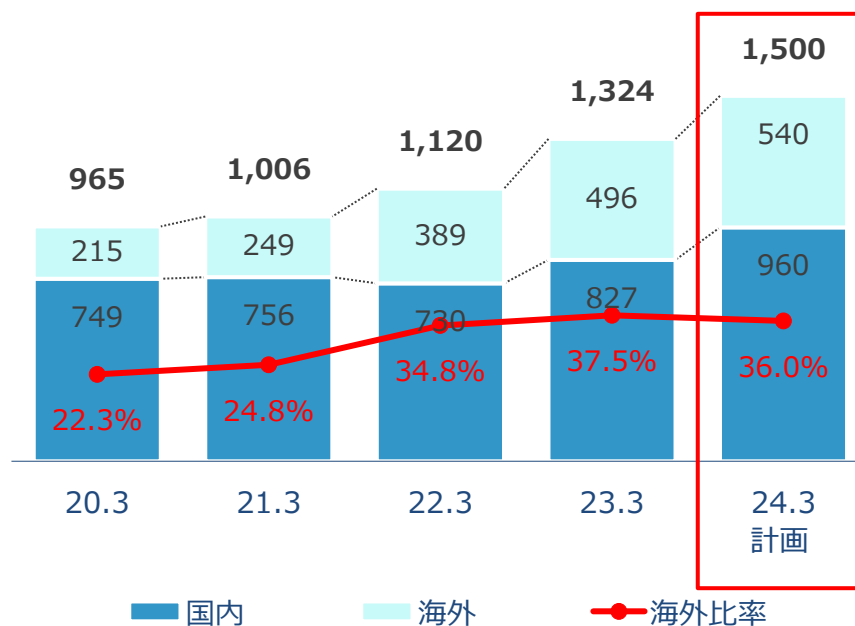
売上高は国内・海外とも受注残案件の工事進捗により拡大

国内：電子産業分野を中心に受注案件の売上計上を計画

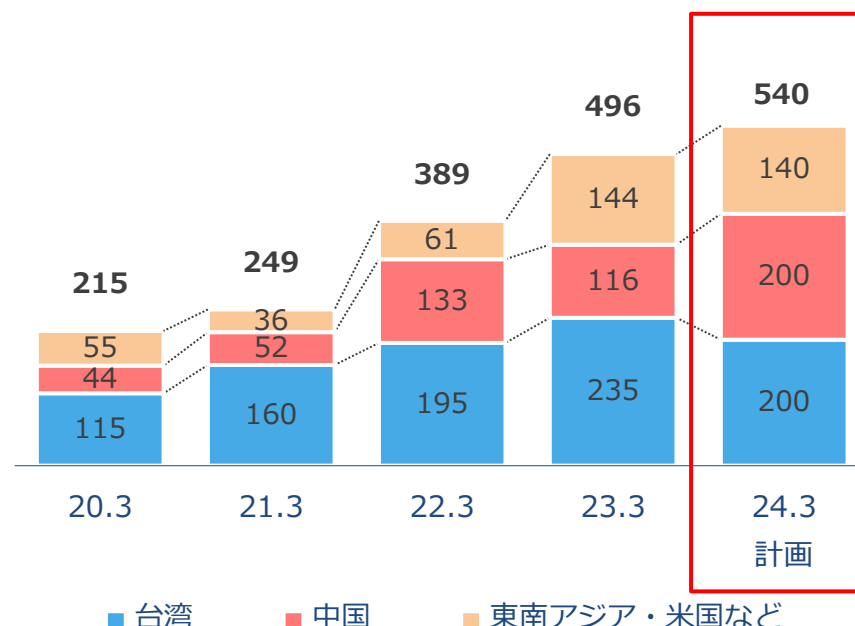
海外：台湾は一服感も中国やマレーシアなどの売上が伸長

(単位：億円)

売上高：国内・海外



売上高：海外地域別



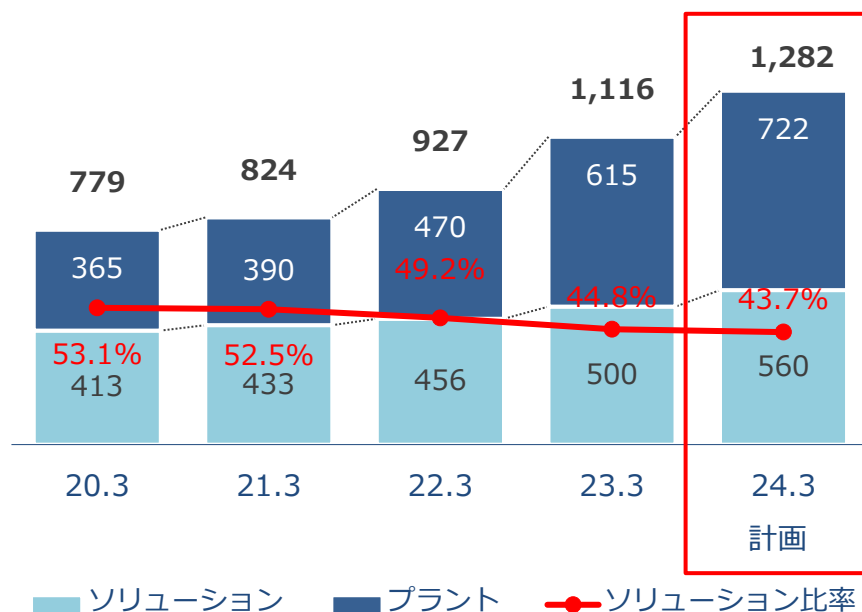
24年3月期通期計画：水処理エンジニアリング事業売上高

電子産業中心にプラント・ソリューションとも売上拡大を計画

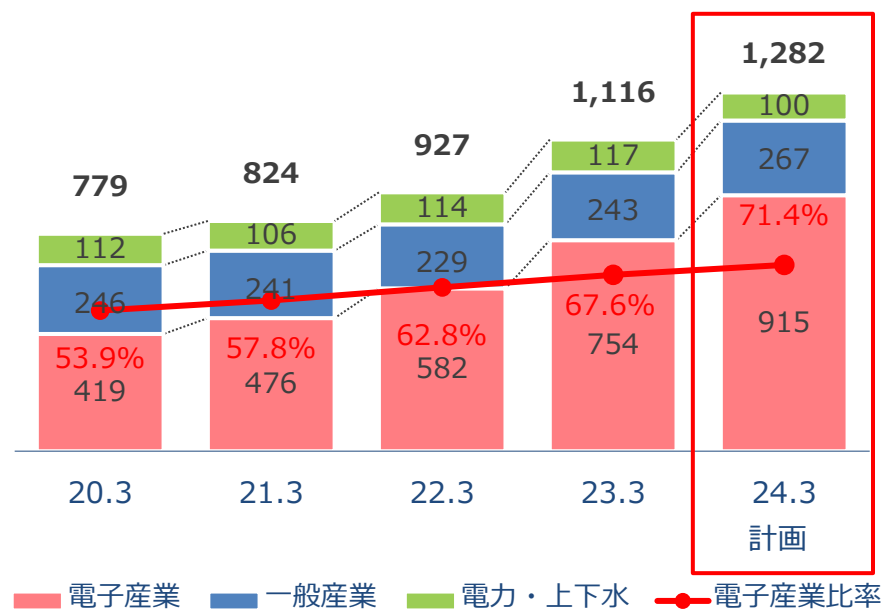
プラントは国内外で受注拡大続いた半導体向けの大型案件の売上が拡大
 ソリューションはメンテナンスに加え設備保有型サービスの開始が寄与

(単位：億円)

水処理エンジニアリング売上高：プラント・ソリューション



水処理エンジニアリング売上高：市場分野別



24年3月期通期計画：電子産業分野受注高

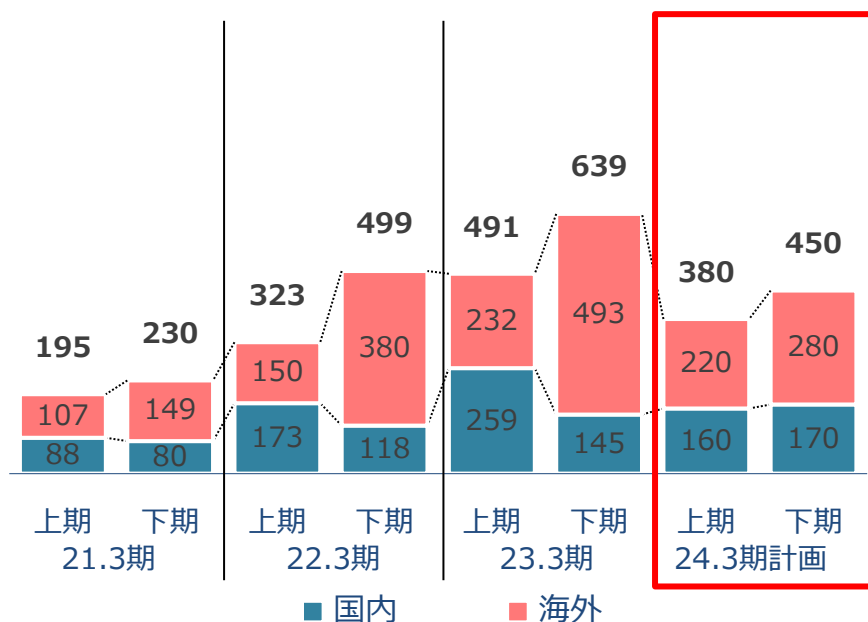
拡大基調には一服感も、国内外とも投資の計画は高水準

国内：半導体やウェハーなど複数の大型計画の受注を想定

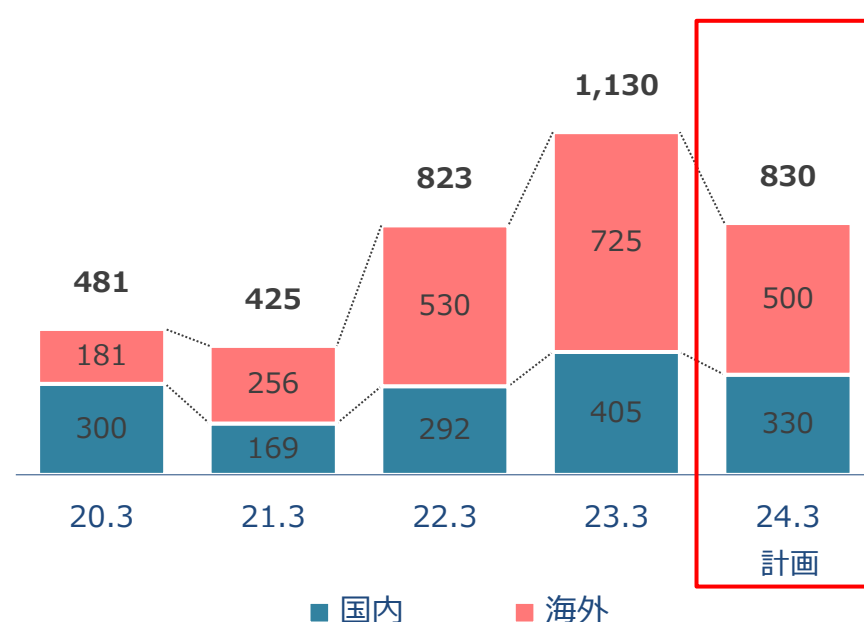
海外：台湾や中国などの大型半導体プロジェクトの受注を想定

(単位：億円)

電子産業分野：受注高（上下比較）



電子産業分野：受注高



24年3月期通期計画：電子産業分野売上高

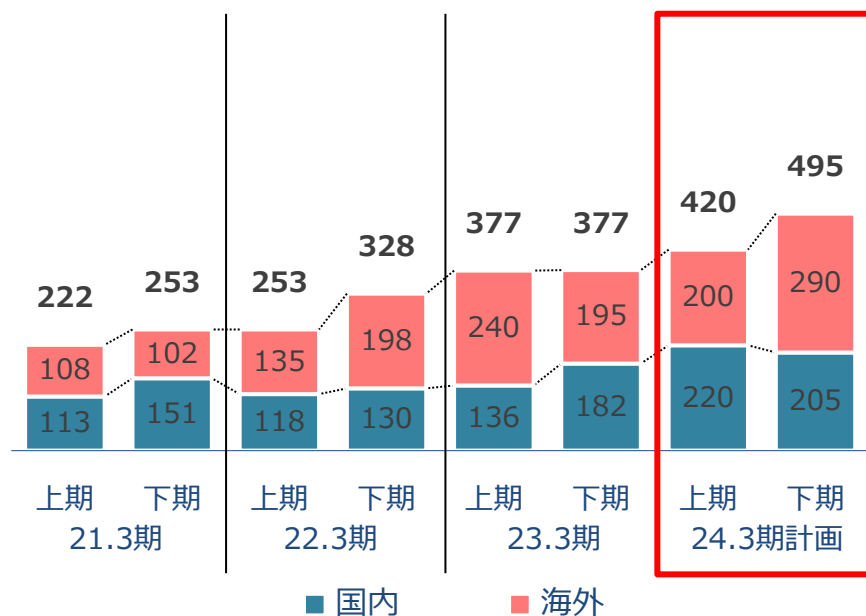
国内・海外とも繰越受注残の工事進捗による売上拡大を計画

国内：前年受注の大型プロジェクトの売上が本格的に寄与

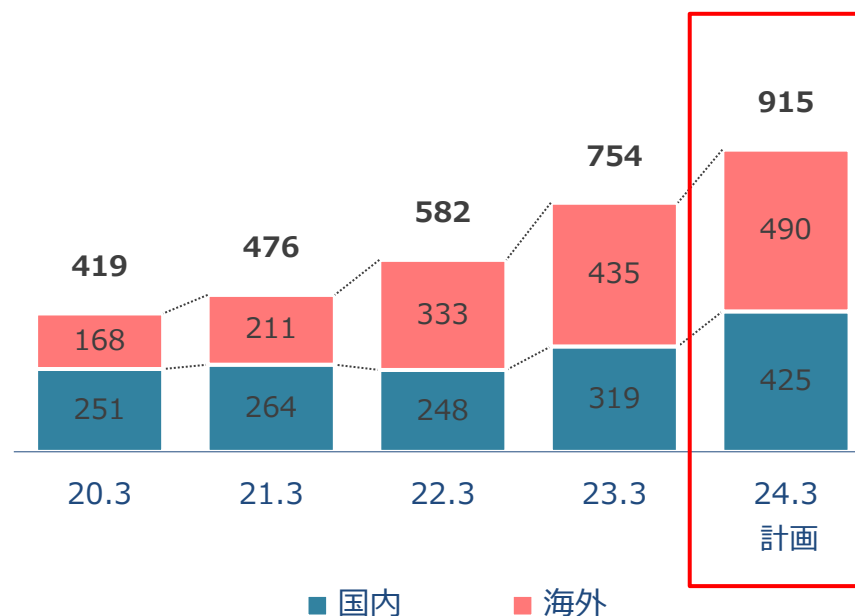
海外：中国やマレーシアなどの大型案件の工事進捗で売上拡大

(単位：億円)

電子産業分野：売上高（上下比較）



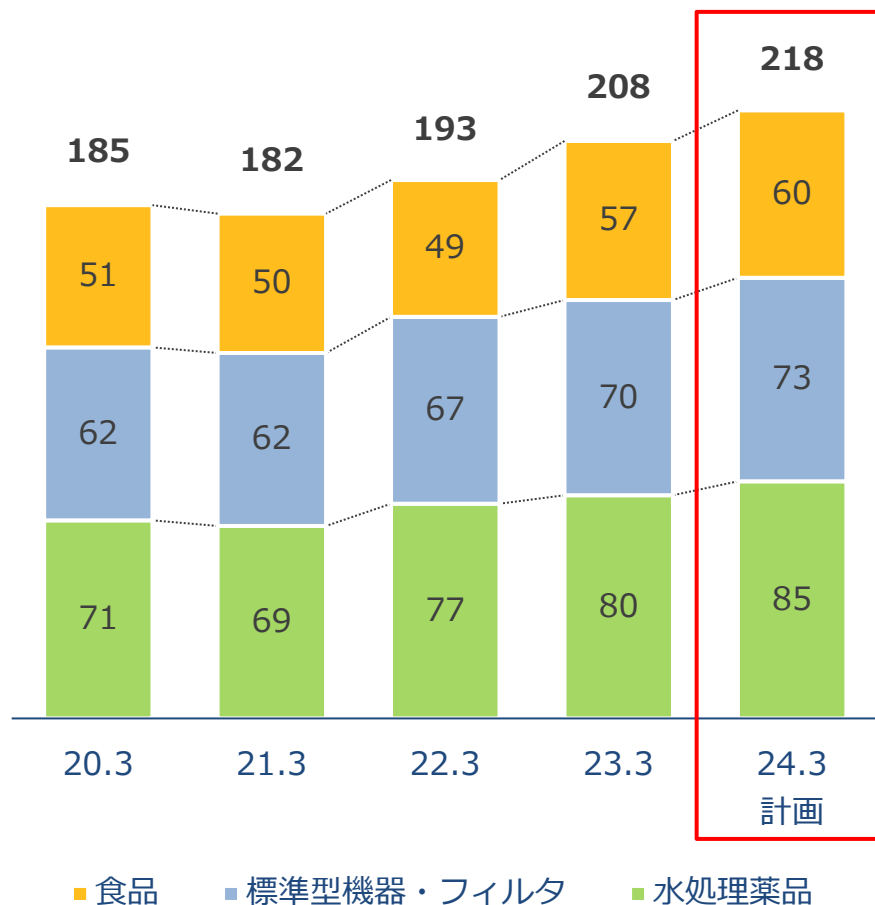
電子産業分野：売上高



24年3月期通期計画：機能商品事業売上高

(単位：億円)

機能商品事業売上高



■ 水処理薬品

水処理プラントの新增設に合わせた電子産業向けの売上拡大に加え、台湾・中国など海外での事業拡大を図る

■ 標準型水処理機器・フィルタ

国内での医療・研究機関向けの小型機器、コンビニ・外食などに向けた浄水フィルタの拡販に加え、中国など海外での展開も強化

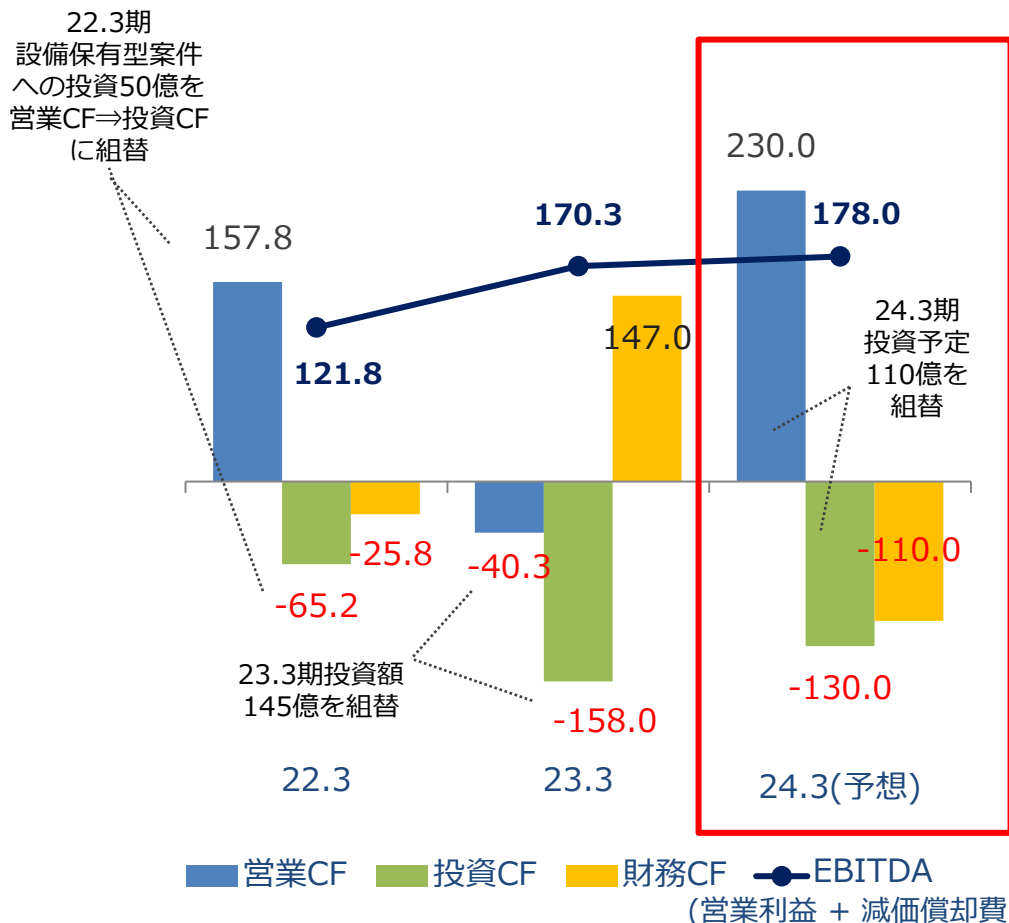
■ 食品

コロナ禍や価格転嫁などへの対応で停滞気味であった新たな顧客の開拓・新商品の拡販活動を強化、売上拡大を目指す

24年3月期通期計画：キャッシュ・フローの推移

(単位：億円)

組替後キャッシュ・フロー推移



- 当社キャッシュ・フローは業績の動向に加え、大型プロジェクトの工事進捗・代金の回収状況が増減に大きく影響
- 23.3期はEBITDA改善も、当期売上を計上した大型案件の資金回収が翌期となったため売掛債権が増加、営業CFは赤字。投資CFは設備保有型サービスへの投資が拡大。借入金も増加。24.3期は売掛債権の回収が進みキャッシュ・フローは改善する見通し

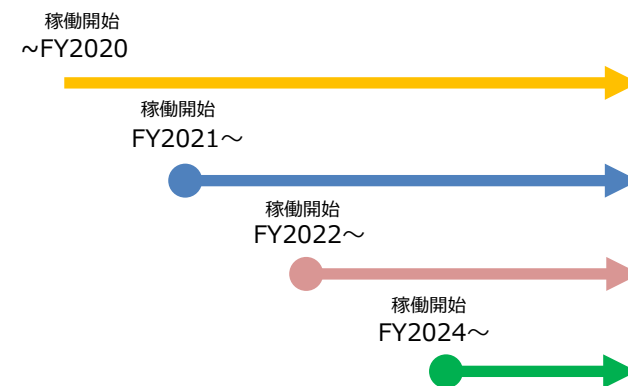
【設備保有型サービスへの投資】

- 設備保有型サービスへの投資額は、BSのリース投資資産(建設中は仕掛品)に計上。流動資産に含まれるためキャッシュ・フロー計算書では投資額を営業CFとして計上
- 左のグラフでは設備保有型サービスへの投資額(22.3期:50億、23.3期:145億、24.3期:110億)を営業CFから投資CFに組替えて表示

24年3月期通期計画：主な指標

	22年3月期 実績	23年3月期 実績	24年3月期 計画
設備投資額 (百万円)	3,387	1,466	2,000
技術研究費 (百万円)	2,146	2,615	3,020
減価償却費 (百万円)	1,332	1,824	1,800
有利子負債 (百万円)	15,628	33,019	25,000
従業員数 (人)	2,476	2,506	2,550
年間配当金 (円)	40	62	66
ROE (%)	12.9	14.5	12.6

設備保有型サービスへの投資状況



- ・設備保有型サービスは5~10年で契約設備+メンテナンス+運転管理を一括で提供、水の供給・処理量に応じて売上
- ・22.3期は50億円、23.3期は145億円、24.3期は110億円の建設投資を実行
- ・年間の売上高は23.3期で約50億円～、投資設備が全て稼働開始する25.3期には売上高が100億円を超える見通し

※設備投資額には無形固定資産等への投資額を含み、設備保有型サービスへの投資額は含んでおりません

※配当金額は22年10月1日の株式分割（1株→4株）を考慮した金額です

目次

1. 2023年3月期 通期実績
2. 2024年3月期 通期計画
3. 中長期経営計画 “ORGANO 2030”
4. 会社概要

中長期経営計画 “ORGANO2030”

グローバルでのパートナー企業へ

- 半導体向け水処理のグローバル・トップへ
- 薬品・機能材料のファーストチョイス・ラインナップ拡充
- サステナビリティ目標の達成

中期計画(~2026.3)

売上高	1,700億円
営業利益	185億円
(%)	10.9%
ROE	12.6%

長期計画(~2030)

売上高	2,000億円
営業利益	300億円
(%)	15%
ROEは安定的に	12%以上

新たなビジネス・展開地域の拡大

- 米国での事業拡大・韓国への進出
- 薬品など機能商品の海外展開拡大
- 新たなソリューションサービスの拡充・展開

次期計画(~2024.3)

売上高	1,500億円
営業利益	160億円
(%)	10.7%
ROE	12.6%

業務の効率化と新たなビジネス創出

- エンジニアリング業務の効率化・キャパシティ拡大
- 新たな水処理・分離精製技術・ソリューションサービスなどの開発強化
- 各国・地域での事業体制拡充

中期経営計画とサステナビリティ目標・マテリアリティ

中期経営計画

重点分野

電子産業

米国・台湾・中国など
グローバル展開の拡大

水処理薬品

バリューチェーン
・海外展開強化

機能材料

サプライチェーン強
化・差別化商品拡充

体制整備・拡充

エンジニアリング

自動化・効率化の推進
キャパシティ拡大

ソリューション サービス

海外展開・サービス
メニュー拡充

研究開発

開発基盤の強化と
新事業創出

サステナビリティ目標・マテリアリティ

継続的な事業成長の実現

持続可能な地球環境への貢献

技術力を活かした
高付加価値製品・サービスの提供

事業基盤の構築

ガバナンス強化と
コンプライアンスの徹底

多様な人材が活躍し
働きがいのある職場づくり

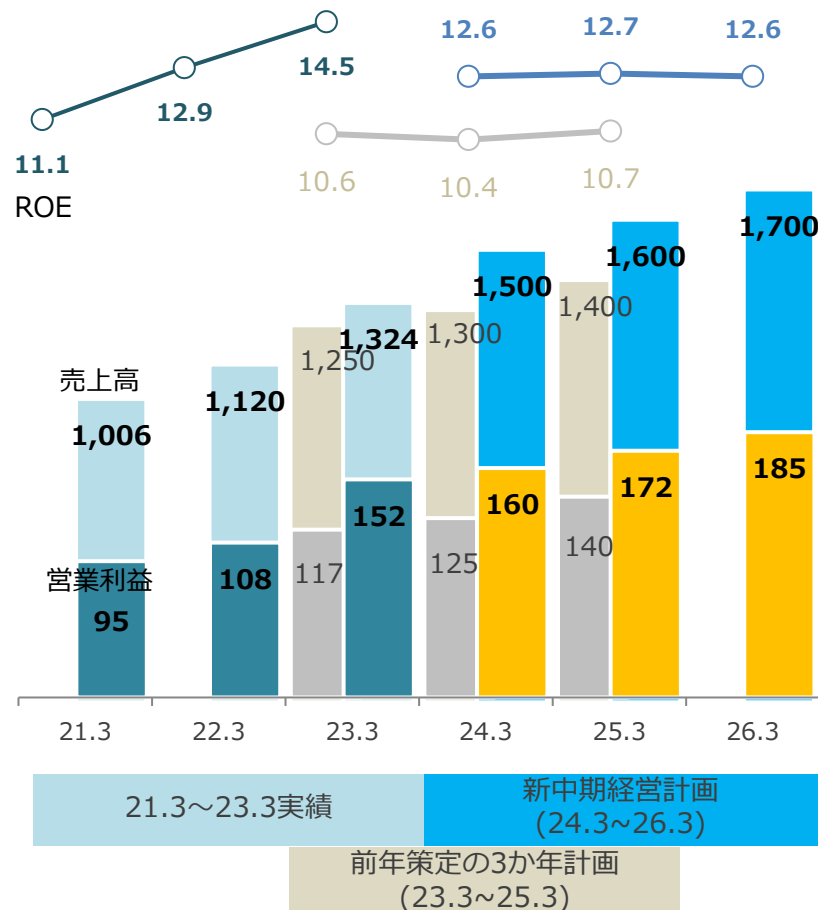
サプライチェーン
マネジメントの強化



中期経営計画：業績の目標

(単位：億円・%)

売上高・営業利益・ROEの推移



●売上規模拡大

高水準の受注残を背景に電子産業分野を中心に1,700億円まで売上を拡大。安定収益源であるソリューション・機能商品事業も強化

●成長投資と安定的な収益計上

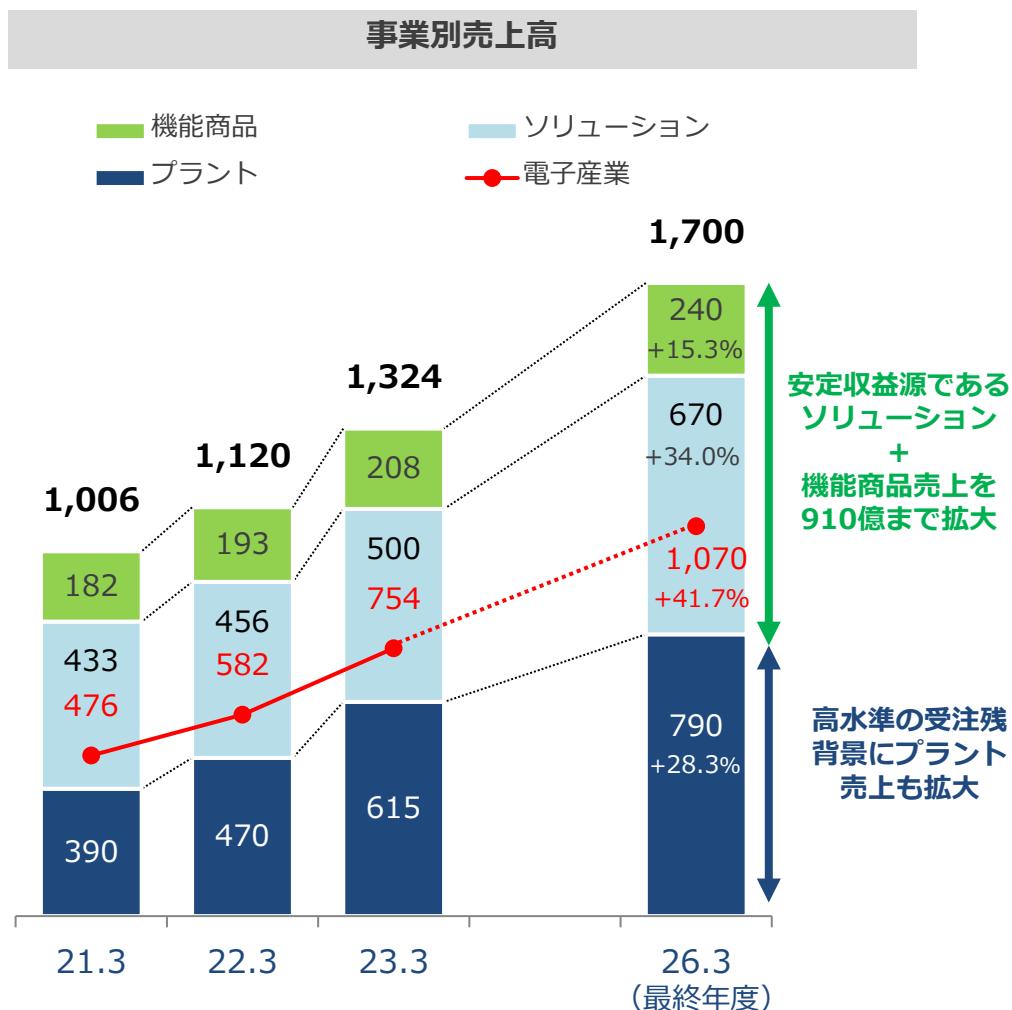
キャパシティの拡大や成長への投資と安定的な利益計上を両立。ROEは安定的に12%以上を計上

●サステナビリティ目標への取組み

継続的な事業成長の実現と事業基盤の構築に向けたサステナビリティ目標の達成に取り組む

中期経営計画：事業別売上高

(単位：億円・%)



●電子産業分野

プラント・ソリューションとも電子産業分野を中心に拡大

●プラント事業

日本・台湾・中国・米国など各国で半導体向けの大型設備納入

●ソリューション事業

設備保有型サービスの拡大
設備の自動運転・遠隔監視などデジタル・ソリューションサービスを強化

●機能商品事業

水処理薬品や小型機器を中心に海外での拡販を強化

中長期経営計画：サステナビリティKPI

2030年度目標

Water

当社が納入する装置が浄化処理し、
外部に放流される排水量

累計 6,000万³m

当社が納入する装置が浄化処理し、
回収されリサイクルされる水量

累計 25,000万³m

CO₂

Scope1&2 CO₂排出量削減率
(Scope3削減率は検討中)

37.8%削減

当社の技術・製品の適用による
CO₂削減量

累計 32,000t

Sludge

当社の技術・製品の適用による
汚泥削減量

累計 10,000t

* 汚泥：排水処理の過程で発生する廃棄物

オルガノのサステナビリティ技術・サービス

水や資源のリサイクル技術

エコクリスタ

半導体製造に用いられるフッ酸を工場排水から回収。高純度ペレットに精製、フッ酸原料としてリサイクル

水の回収・リサイクル

工場排水を分別回収・リサイクルするクローズドシステムを展開。排水から生じる汚泥もセメント原料などに有効利用されるケースも

NMP 精製リサイクル

リチウムイオンバッテリーの正極製造に用いられる溶剤(NMP)をオンサイトで回収・精製するシステムを開発

高度下水処理 AGSOR

排水処理に有効な微生物を高度に凝集するグラニュール技術により従来法比3~4倍の高速処理、設備の省スペース・低コスト実現で大都市下水処理向けの展開を期待

サステナビリティ・ソリューション

水熱利用システム

“水熱利用システム”はヒートポンプ技術により工場で使用される水の熱をエネルギーに転換。50%以上の消費電力・CO₂削減を実現

冷却水処理剤 オルブレイド

工場などで使用される冷凍機の熱交換効率を冷却水処理剤“オルブレイド”で改善。エネルギー使用量の削減に貢献

オルスマート

水処理薬品の自動注入・遠隔監視システム“オルスマート”でRO膜処理設備や冷却水処理の省力化・省エネ化を実現

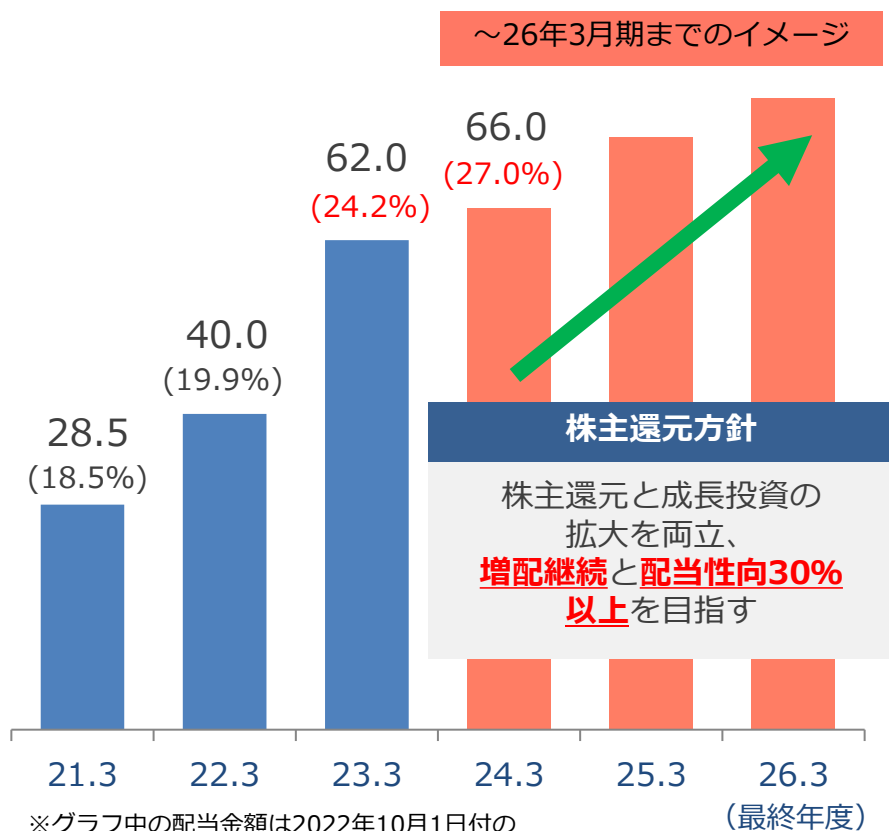
オルトピアクラウド

遠隔監視システム“オルトピアクラウド”により工場や上下水設備の維持管理を効率化。運転データの蓄積により設備メンテナンスの効率化も

中期経営計画：株主還元方針

(単位：円・%)

1株あたり配当金・配当性向の推移



※グラフ中の配当金額は2022年10月1日付の株式分割後のベースで記載しております

●業績改善で配当増

23.3期は業績改善で上期・通期とも配当額を上方修正。年間の一株当たり配当額は前期比55%増の62円まで拡大。前中計目標の配当性向25%は24.3期に達成する予定

●株主還元方針

現時点では配当中心の株主還元を検討。株主還元と成長投資の拡大を両立、増配継続と配当性向30%以上の水準を目指す

目次

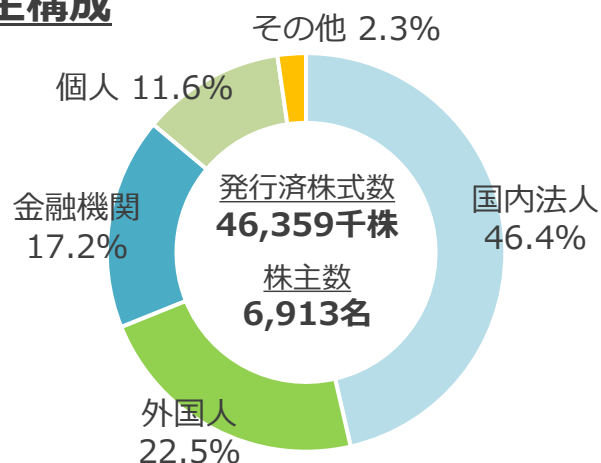
1. 2023年3月期 通期実績
2. 2024年3月期 通期計画
3. 中長期経営計画 “ORGANO 2030”
4. 会社概要

会社概要：概要と株主構成

■ 会社概要

社名	オルガノ株式会社
本社所在地	東京都江東区新砂1丁目2番8号
設立	1946年5月1日
資本金	8,225 百万円
従業員数	2,506名（連結）
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場

■ 株主構成



■ 大株主（上位10名）

（2023年3月31日現在）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
東ソー（株）	20,379	44.28
日本マスタートラスト信託銀行（株）（信託口）	4,190	9.11
（株）日本カストディ銀行（信託口）	2,317	5.03
DZ PRIVATBANK S.A. RE INVESTMENTFONDS	871	1.89
KBC BANK NV - UCITS CLIENTS NON TREATY	870	1.89
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	506	1.10
（株）みずほ銀行	464	1.01
VICTORY TRIVALENT INTERNATIONAL SMALL-CAP FUND	395	0.86
BNYMSANV RE BNYMSANVDUBRE LEGAL (AND) GENERAL UCITS ETF PLC	393	0.85
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505253	379	0.82

※持株比率は自己株式(337千株)を控除して計算しております

会社概要：オルガノの事業構成

水処理エンジニアリング事業

プラント事業



純水・超純水設備
排水処理・回収設備
有価物回収設備
プロセス関連設備

ソリューション事業



設備メンテナンス
運転管理・包括契約
設備増強・改造工事
水処理加工受託

事業別売上高

500億円
(45%)

615億円
(55%)

【ソリューション事業】 【プラント事業】

顧客分野別売上高

754億円
(68%)

243億円
(22%)

117億円
(10%)

【電子産業】

【一般産業】 【電力・上下水】

機能商品事業

水処理薬品事業



排水・冷却水・洗浄・
RO膜・ボイラ等処理剤

標準型水処理機器・フィルタ事業



純水・超純水装置
浄水フィルタ

食品事業



食品添加剤・加工剤
食品素材

事業別売上高

80億円
(39%)

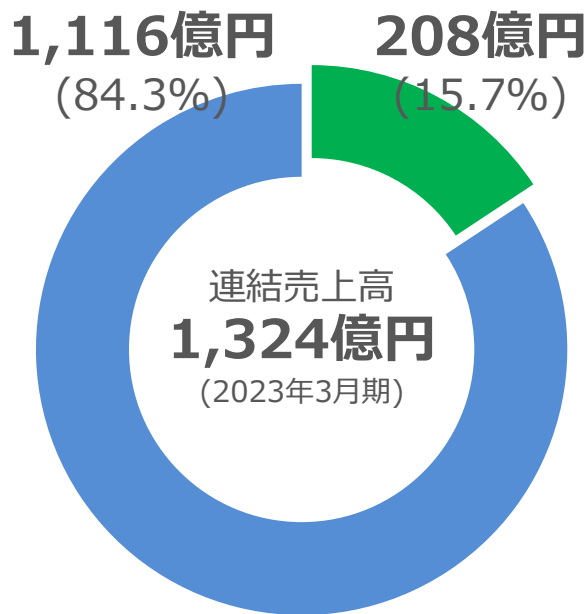
70億円
(34%)

57億円
(27%)

【水処理薬品】

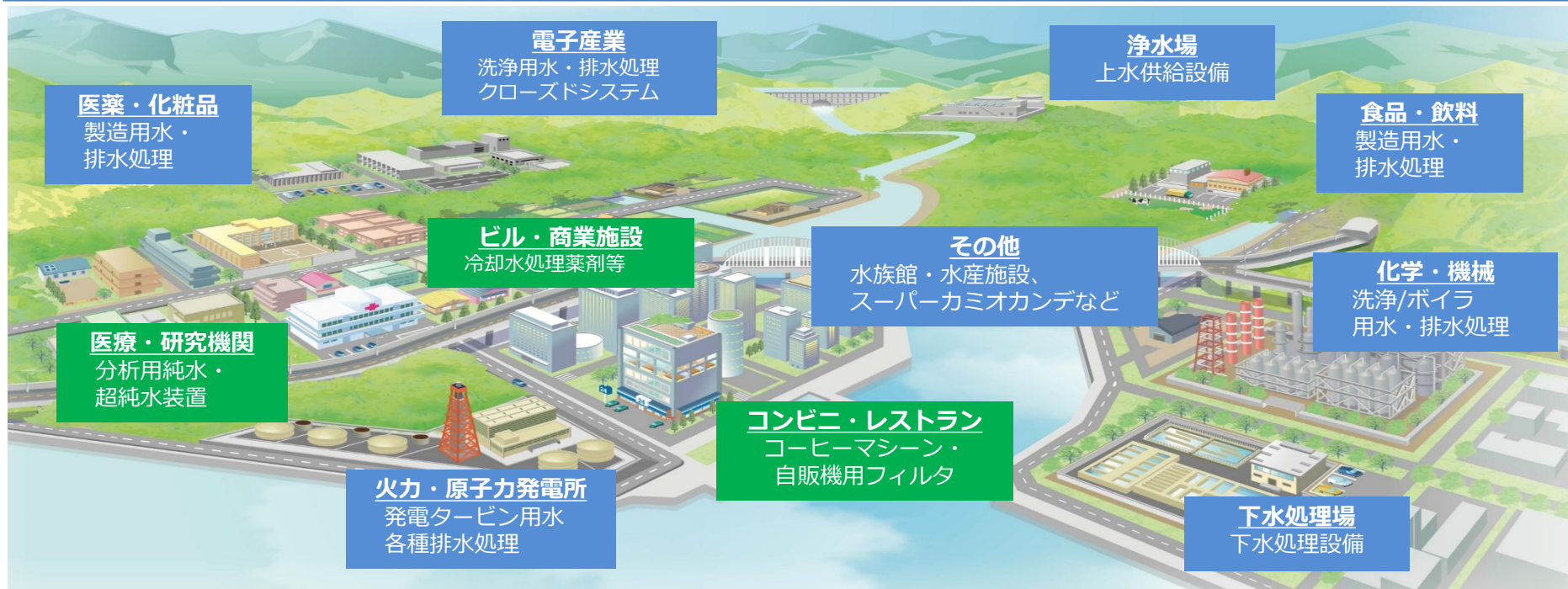
【標準機器・
フィルタ】

【食品】



※金額は23.3期売上高、%は売上構成比率

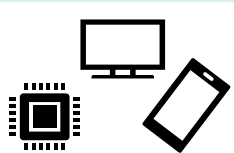
会社概要：生活と産業を支えるオルガノの水処理技術



水処理エンジニア事業

機能商品事業

電子産業



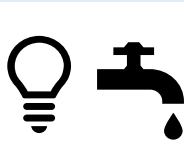
半導体・パネル・
電子部品等

一般産業



医薬・化粧品、
食品・飲料、
機械・化学等

社会インフラ



火力・原子力
発電所、上下水道

水処理薬品



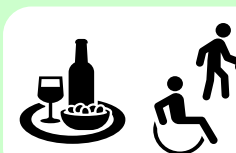
各種製造業・
ビル/商業施設

標準機器・フィルタ



医療・研究機関
コンビニ・レストラン

食品

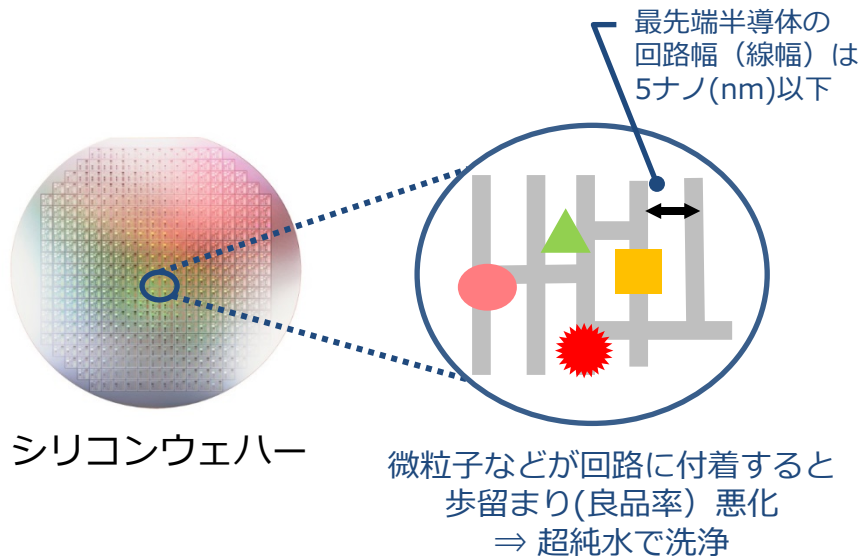


食品/飲料・
介護/健康食品

会社概要：半導体と水

多くの工程が必要な半導体製造プロセスのうち、3割程度を洗浄工程が占めると言われています。ウェハーの製造、成膜、エッチング、レジストなどの前後で繰り返し行われる洗浄プロセスに超純水が用いられています

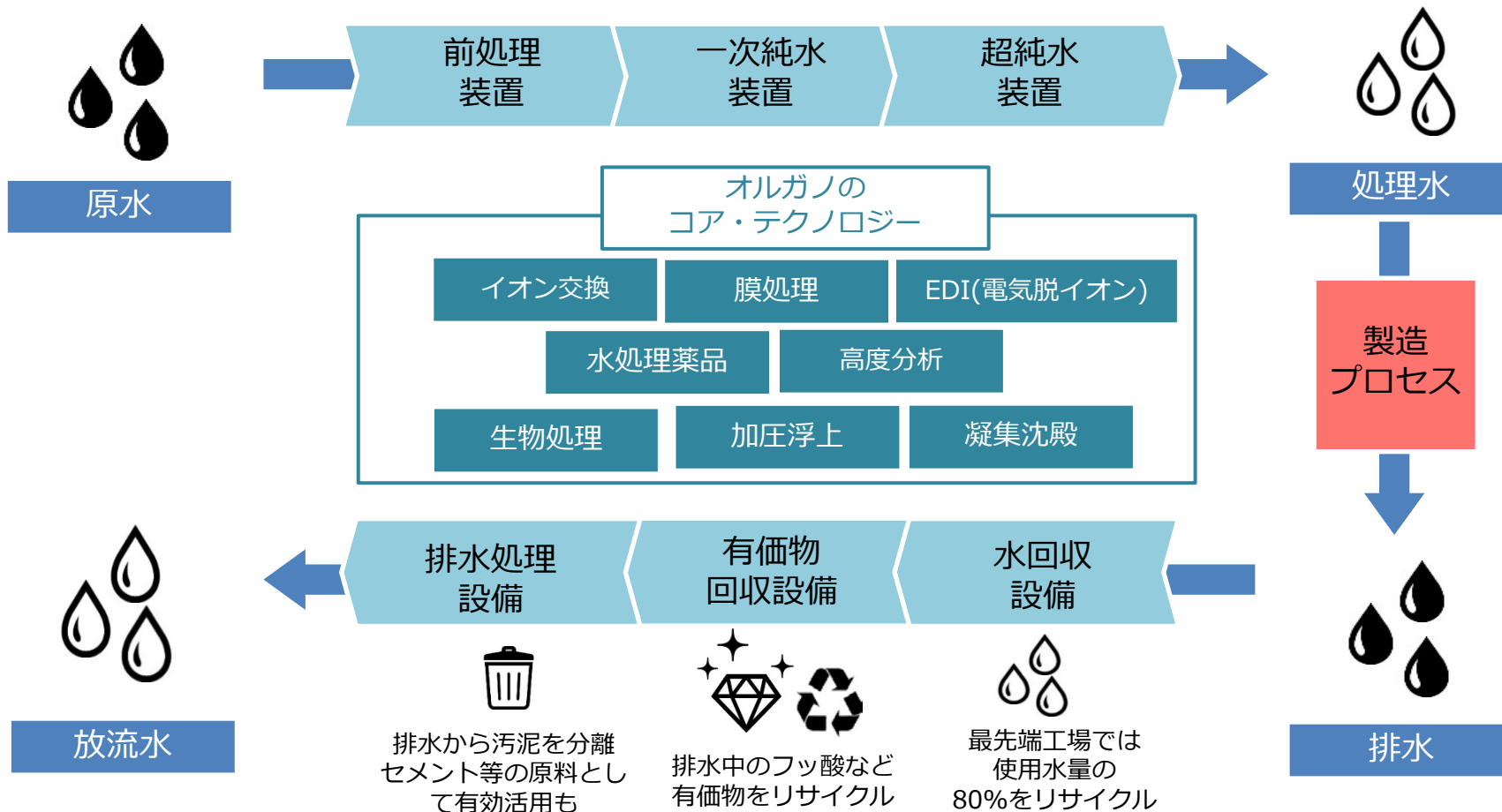
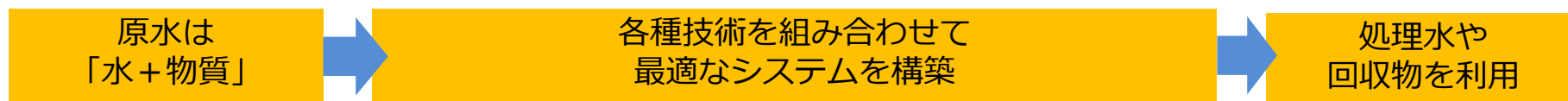
超純水で歩留まり改善に貢献



どこが	どれだけ	すぐれた技術力と価値
不純物濃度	1ppt以下	質量濃度は1兆分の1。オリンピック競泳50mプール(2,500m ³)の超純水に溶け込んだ不純物の量は僅か耳かき1さじ(2.5mg)分
製造水量	1000 Ton/時	大容量の高性能ポンプや大口径配管を使用。オリンピック競泳50mプール(2,500m ³)が2時間半で満杯に
水の回収率	80%	半導体工場では洗浄用水など大量の水を使用するが、最先端の工場では80%以上の水を回収し再利用。水のリサイクルだけでなく、排水中に含まれる有価物を回収する技術も活用

オルガノはウェハーやチップの洗浄に用いられる超純水の供給設備、洗浄や他の製造工程で生じる排水を無害化・廃棄物を低減するための処理設備、水のリサイクルシステム、排水からフッ素・レアメタルなどの有価物を回収・再資源化するシステムなどを提供しています

会社概要：電子産業向け水処理設備



会社概要：水処理エンジニア事業・事業のサイクル

研究開発・営業活動

- ・最先端技術の案件など客先と共同で実験を行うケースもあり
- ・新規案件だけではなく、納入設備の改造・増強を提案するケースも

ソリューション事業

- ・納入した設備に対する**メンテナンスサービスはリピート率高い**
- ・設備保有型のサービスや運転管理・包括メンテナンス契約などのソリューション事業を展開



プラント事業

設備規模

- ・水処理設備の一件あたり投資規模は**数千万円～百億円超**

施工期間

- ・大型設備の施工期間は**12～24ヶ月程度**

受注・売上の計上

- ・**受注は契約時点**で計上
- ・**売上は工事の進捗度**に応じて計上

採算性の管理・動向

- ・一定の追加コストのリスクを工事予算に織り込んで管理
- ・採算性は市場の設備投資動向にも左右される
過去には投資減少による競争激化で利益率低下も

会社概要：オルガノグループの歩み

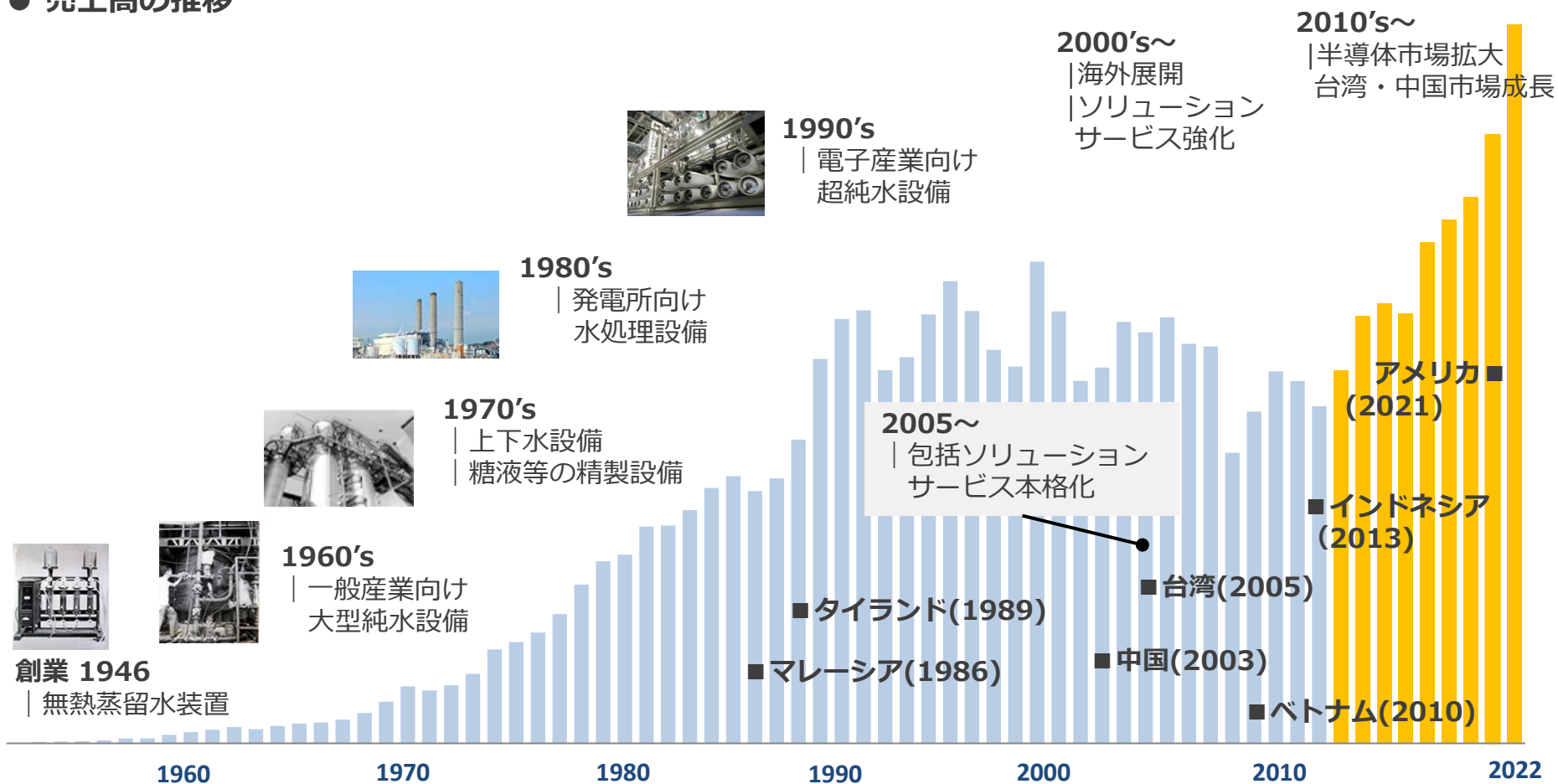
創業期

成長期

成熟期

飛躍期

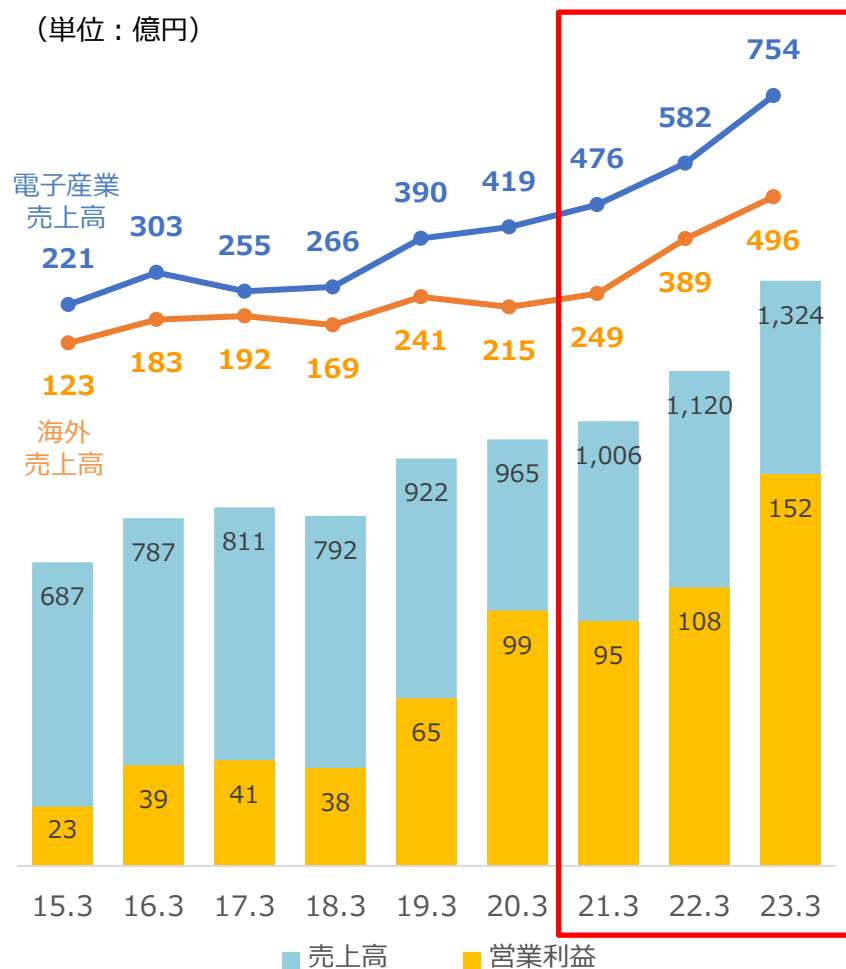
● 売上高の推移



会社概要：直近の業績拡大の背景

直近の業績推移

(単位：億円)



電子産業分野の伸長

2018年以降の半導体市場の伸びを背景に当社業績も伸長。

引き続き国内外の電子産業分野向けを中心とした成長が続くものと期待。

台湾・中国市場の拡大

地域別では台湾・中国市場が大きく成長。ファウンドリーやメモリなど各種半導体分野の投資が拡大。

採算性の改善

比較的利益率の高いソリューション・機能商品の伸長に加え、プラント部門の受注採算性改善やコストダウンが奏功。

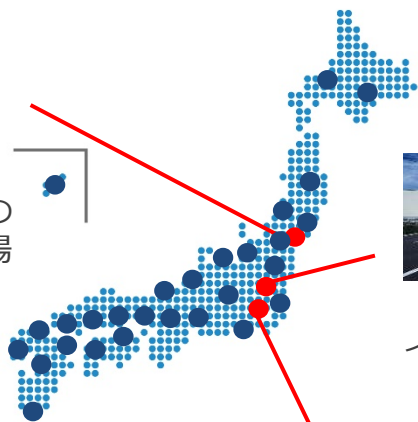
会社概要：オルガノのネットワーク

国内拠点・ネットワーク

いわき工場



大型水処理設備の
ユニット組立工場

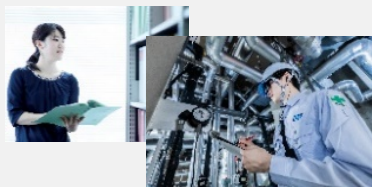


つくば工場



世界最大級の
イオン交換樹脂
精製工場

国内営業・サービス拠点



全国に営業・サービス
ネットワークを展開

開発センター(相模原市)



最先端の水処理・分離精製
技術の研究開発を推進

グローバル・ネットワーク

■ 東南アジア

マレーシア・タイ
ベトナム・インドネシア

■ 北米

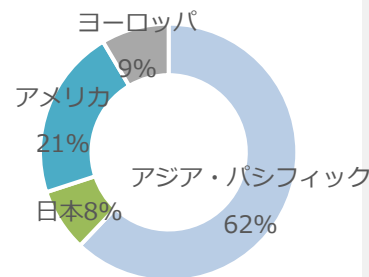
【米国】オルガノUSA

■ 東アジア

中国・台湾



地域別半導体生産シェア (2021年 WSTS調べ)



アメリカに現法設立(21年9月)

これまで日本・中国・台湾や
マレーシアなど電子産業分野
の集積地を中心に進出

顧客工場の進出に合わせて
2021年9月に米国現法設立、
アリゾナに拠点を設置

会社概要：社外からの評価・指数への採用

JPX-NIKKEI Mid Small

オルガノグループは、日本経済新聞社とJPX総研が共同で算出する株価指数「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に選定されました。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**



RAFI

この他、Russell/Nomura Prime、S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数、野村RAFI、FTSE Blossom Japan Sector Relativeなどのインデックスに採用されており、ESG投資・パッシブ運用のベンチマークとしても評価を頂いております。

お問い合わせ先

経営統括本部 経営企画部

TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240

ホームページ

<https://www.organo.co.jp>

お問い合わせフォーム

<https://www.organo.co.jp/contact/>

